

学びがいっそう深まる
教科書ができました!



令和6年度版

小学 社会

内容解説資料

本資料は内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

日語の新版教科書情報

詳しくはWebへ!

日文

検索



未来をになう子どもたちへ
日本文教出版

※本冊子掲載二次元コードのリンク先コンテンツは予告なく変更または削除する場合があります。



子どもが 学びの主演となる教科書

社会のなかにある

「なぜだろう?」と思うこと。

それが社会科の学習の入り口です。

『小学社会』は、子どもの素朴な思いに寄り添い
社会科の資質・能力を育みます。



『小学社会』の基本方針

ポイント 1 問題解決に向け、本気で学ぶ

主権者として自らの生き方を問い続けながら、
問題を解決できる子どもを育てます。

ポイント 2 主体的・対話的で深い学びを実現する

みんなとともに考える子どもを育てます。

ポイント 3 SDGsを自分ごととして考える

誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向け、
自ら考え、行動ができる子どもを育てます。

5分でわかる！
令和6年度版『小学社会』
内容解説動画はこちら！



もくじ

『小学社会』の4つのくふう	2
ポイント 1 問題解決に向け、本気で学ぶ	4
一目でわかる！ 問題解決的な社会科の学習	6
見開きごとに問題解決！ 学習を積み重ねよう	10
ポイント 2 主体的・対話的で深い学びを実現する	12
読み取りやすい本文で 学習活動をサポート	14
“生きて働く”知識と技能を 多様な視点から育てる	16
ひとり⇄みんな 耳を傾け合う 「深め合い」活動	18
ポイント 3 SDGsを自分ごととして考える	20
SDGs×学習内容 考えることから始めよう	22
SDGsで未来を考え 行動する学びを	24
特集 もっと知りたい！に答える 教科書QRコンテンツ	26
社会科っておもしろい！ 期待感を高める巻頭ページ	30
ふり返りから成長を実感！ 次学年につなぐ巻末ページ	32
みんなにやさしいデザインで使いやすい！	34
現代的な諸課題への取り組み	36
他教科・他校種との連携	40
各学年の特色	42
教科書で取り上げた主な地域事例地	48
デジタル教科書・教材のご案内	50
教師用指導書のご案内	52
年間指導計画	54
観点別教材一覧	56
教科書検討の観点から見た内容の特色	60

『小学社会』の4つのくふう

詳しい内容は
各ページを
ご覧ください！



教科書内のキャラクター

新しくふうが
盛りだくさん！



わくわく！の気持ちを高める

**5年生の社会科が
はじまります！**

4年生の社会科では、自分たちが住む地域の特色や、健康で安全な暮らしをつくる人々の仕事、自然や文化などについて学習してきました。5年生では、その基礎からさらに広げて、日本全体のことを学習していきます。どのようなことを学習するのか見てみましょう。

4年生へ向かって

- 1 わたしたちの県
わたしたちの県について学習します。地形や土地の使われ方、交通のようす、特産物を調べていきます。
- 2 健康な暮らしを守る仕事
健康な暮らしを守る仕事について学習します。そこで働く人びとの取り組みや、はたらきを考えていきます。
- 3 自然がいから人びとを守る活動
自然がいから人びとを守る活動について学習します。さいがいから人びとを守る活動を探し、さいがいのけんいんやそれらふくむくふうを考えていきます。
- 4 地いきのでんと文化、先人のはたらき
地いきのでんと文化、先人の仕事について学習します。今のかたしらのくらしとのつながりも考えていきます。
- 5 わたしたちの住んでいる県
わたしたちの住んでいる県について学習します。県は、地いきによって特色があり、それを生かしていることを調べていきます。

学習への期待感を高める

- 巻頭ページ→30ページ
- 巻末ページ→32ページ

しつもんへの答え

火事のげんいんの一つに、電気機器があったよ。こたつやアイロンを使い終わったら、スイッチをきちんと切るようにかけたいな。

感想

自分の命を守ることが地いきの安全につながるのではないかなと、はじめの考えから少し変わったよ。みんなはどうかな。

深め合い (二人の発表を聞いて)

まなさんと同じことを思ったよ。二人の考えは、自分の身を守るためにできることをして、それをまわりの人といっしょに考えたり広めたりするところがないかな。

ほかの学年の人や家の人には、消ぼうしの人や消ぼうだんの人、地いきを守るためにいっしょけんめい取り組んでいることもつたえたいな。

消ぼうしの人、ぼう火のよびかけをしていると言っていたよね。火事をふせぐためにできることについて、もっと調べたいな。

消ぼうしや消ぼうだんの人だけにまかせるのではなく、一人一人が、火事にそなえて注意することが、地いきの安全につながるよ、あらためて気がついたよ。

- 深め合い漫画→18ページ

漫画で楽しく
対話が深まる

子どもに寄り添う

**自分のペースで
資料を読み取る**

教科書QRコンテンツ

自分のペースで資料を読み取る。教科書QRコンテンツで、地図や写真、動画などを活用して学習できる。

- 教科書QRコンテンツ→26～29ページ
- デジタル教科書・教材→50ページ

ひろとさんは、縄文時代の人々の生活について、SDGsとの関わりをくわしく調べ、自分たちの生活にかけることはないか、考えてみることにしました。

その土地でとれるものを使って食べる考え方は、地産地消の考えに似ているね。

とれたものは平等に分けて、争いのないくらしをしていたね。

**自主学习にもぴったりな
発展的教材が豊富**

- 特設ページ→24ページ

読み取りやすさ

税金のはたらき まなさんたちは、④から⑥の資料を見て、税金について調べました。

あだち足立区では、子育て支援などの政策を進めたり、保育園を建設したりするお金は、国や東京都からの補助や、区民が納める税金でまかなわれています。

④の資料を見ると、税金には、さまざまな種類があるんだね。消費税については、国の収入のところで学習したね。

三つの役割分けて
本文が読み取りやすい

- 本文の役割分け→14ページ

読み取る

土地利用図の読み取り方

① 確かめる

- 表題を確認する。
- 凡例にある地図記号や色分けの意味を確認する。

② 見つける

- 山や川的位置
- 田や畑などの広がり
- 鉄道や道路の位置

③ 考える

- 80～81ページの空中写真や地図帳なども見て、関連づけて考える。

米作りのさかんな庄内平野は、地いきのよさを生かしている。

誰でも資料が読み取りやすい

- ユニバーサルデザインへの対応→34ページ

授業のしやすさ

読み取る

土地利用図の読み取り方

① 確かめる

- 表題を確認する。
- 凡例にある地図記号や色分けの意味を確認する。

② 見つける

- 山や川的位置
- 田や畑などの広がり
- 鉄道や道路の位置

③ 考える

- 80～81ページの空中写真や地図帳なども見て、関連づけて考える。

指導のヒントがたっぷり！

見方・考え方 空間

ぜんぼうこうえんぶん 前方後円墳の分布図を見て、古墳がある地域とない地域に着目して、ちがいを調べよう。

- 知識・技能の習得を支える多様なコーナー→16ページ

社会科の学習の進め方

学習の流れがわかりやすい！

問題を発見する力を身につけよう

- インデックス→5、6、10ページ
- 社会科の学習の進め方→6、31ページ

ポイント

1

問題解決に向け、本気で学ぶ



主権者として自らの生き方を問い続けながら、問題を解決できる子どもを育てます。

→ 一目でわかる! 問題解決的な社会科の学習 6

→ 見開きごとに問題解決! 学習を積み重ねよう 10

1 問題を発見する



自分で問題を解決していくことができるんだね。

2 問題を追究・解決する



3

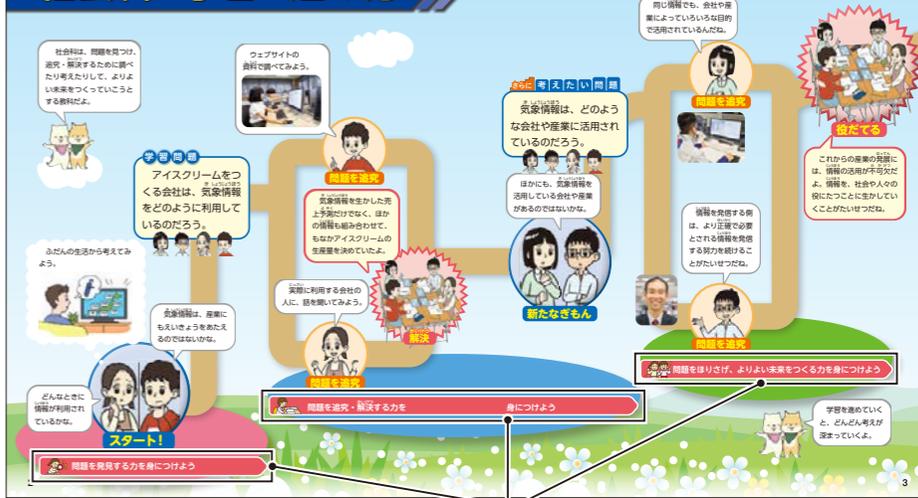
問題をほりさげ、未来に生かす



ここがイチオシ!

学習の進め方は、インデックスに注目!

社会科の学習の進め方

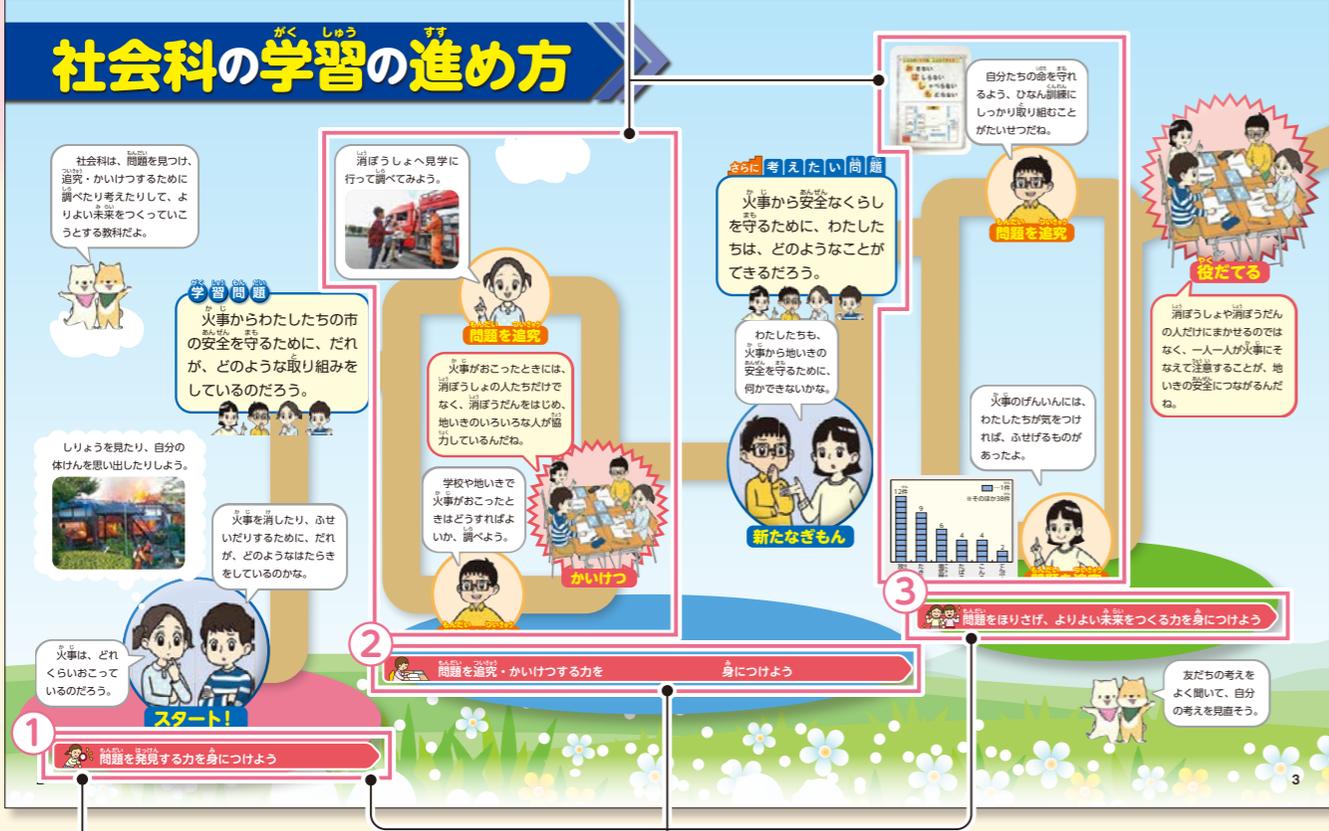


本文ページの下(脚注)に、このようなインデックスを設定しています。このページで身につけたい力がわかり、学習を見通して進めることができます。

一目でわかる! 問題解決的な社会科の学習

内容のまとめ(小单元)ごとに問題解決的な学習を展開できるようにくふうしています。

各小单元は、以下のように
流れでつくられています!



いろいろな追究方法があることを、道を分岐させることで示しています。

3年 P.2-3

本文ページにも設定しているインデックスを用いて、小单元の社会科の学習の進め方を紹介しています。社会科の学習の進め方を理解したうえで、見通しをもって学習のぞむことができます。

- ①問題を発見する力を身につけよう
 ▶おもに、身のまわりのことや世の中のできごとなどから問題を見出す力を身につけるページ
- ②問題を追究・解決する力を身につけよう
 ▶おもに、学習問題についてさまざまな方法で調べ、解決する力を身につけるページ
- ③問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう
 ▶おもに、さらに考えたい問題についてほりさげて追究し、よりよい未来をつくるために何ができるか考え、社会に生かす力を身につけるページ

1 素朴な疑問から学習問題を発見するページ

子どもたちが素朴な疑問を出し合うなかで、学習問題をつかむようすを具体的に示しています。

わたし(たち)の問題
 →詳しくは本冊p.10へ

1 暮らしや産業を支える工業生産

日本には、どのような工業があるのだろう。

キーワード
 工業
 原料や材料を、機械や道具を使って加工し、くらしに必要な製品をつくる産業のこと。

いろいろな工業製品
 リーさんは、日本の工業製品の分類を、①の資料をもとにして調べてみることにしました。

わたしたちの身のまわりには、食品や服、自動車、冷蔵庫など、たくさんの工業製品があるね。
 今まで学習してきたくらしや産業のなかで、工業製品はたくさん使われていたんだね。
 分類するときは、材料やつくり方、工業製品の使い方によって分ければいいのか。

138

学習の計画
 学習問題を解決するために、「調べたいこと」、「調べ方」、「まとめ方」などの見通しをもった学習計画を例示しています。

学習の計画

●調べたいこと

- 工業は、どのような場所でさかんなのか。
- どの工業が、さかんなのか。
- 工場の大きさによってつくるものはちがうのか。

●調べ方

- 地図帳や資料集で調べる。
- 図書室の本やインターネットで調べる。

学習問題

一人ひとりの疑問を出し合うなかで焦点化され、共有される、**みんなで追究したい問題(単元を貫く問題)**を学習問題として例示しています。

学習問題
 わたしたちのくらしを支える工業生産は、どこで、どのようにしておこなわれているのだろう。

わたし(たち)の問題
 →詳しくは本冊p.10へ

1 暮らしや産業を支える工業生産

日本には、どのような工業があるのだろう。

キーワード
 工業
 原料や材料を、機械や道具を使って加工し、くらしに必要な製品をつくる産業のこと。

いろいろな工業製品
 リーさんは、日本の工業製品の分類を、①の資料をもとにして調べてみることにしました。

わたしたちの身のまわりには、食品や服、自動車、冷蔵庫など、たくさんの工業製品があるね。
 今まで学習してきたくらしや産業のなかで、工業製品はたくさん使われていたんだね。
 分類するときは、材料やつくり方、工業製品の使い方によって分ければいいのか。

わたしたちのくらしや産業は、たくさんの工業製品に支えられているんだね。日本では、どの工業がさかんなのか。

わたしたちのくらしや産業は、たくさんの工業製品に支えられているんだね。日本では、どの工業がさかんなのか。

工業製品によって、材料やつくり方にちがいがたくさんありそうだね。

家の近くにある小さな工場と、大きな工場は、何かちがいがあつたかな。

日本は技術力が高いと聞くよ。機械をつくるのが得意なのではないかな。

工場は、ものを運ぶのに便利な場所にあるのではないかな。

139

学習の計画

●調べたいこと

- 工業は、どのような場所でさかんなのか。
- どの工業が、さかんなのか。
- 工場の大きさによってつくるものはちがうのか。

●調べ方

- 地図帳や資料集で調べる。
- 図書室の本やインターネットで調べる。

学習問題についての予想を出し合うようすを具体的に示しています。

5年 P.138-139

2 学習問題を追究・解決するページ

資料などを用いて追究し、解決していくようすをわかりやすく示しています。

水通水をつくるじょう水場

じょう水場では、どのようにして川の水を飲み水に作りかえているのだろうか。

水通水をつくるじょう水場

じょう水場では、どのようにして川の水を飲み水に作りかえているのだろうか。

水通水をつくるじょう水場

じょう水場では、どのようにして川の水を飲み水に作りかえているのだろうか。

水通水をつくるじょう水場

じょう水場では、どのようにして川の水を飲み水に作りかえているのだろうか。

4年 P.60-61

問題を追究・解決するのに必要な写真や図、グラフ、地図などの資料を豊富に掲載しています。

次のページにつながる問いを示し、子どもの思考の流れが途切れることがないようにしています。

「じょう水場で働いている人は、どのような仕事をしているのかな。」

学習問題についての自分の考えを表現したようすを例示しています。

学習問題

わたしたちが使う水は、どこから、どのように運ばれてくるのだろうか。

学習問題

わたしたちが使う水は、どこから、どのように運ばれてくるのだろうか。

学習をふり返ると、どんなことがわかるだろう。

学習問題について考えたことを、①や②のようにノートにまとめたよ。

わたしは、わかかったこと、考えたことを分けて書いてわかりやすいね。

わたしは、水道管のことに注目して考えて、ノートにまとめたよ。

そのあと、自分の考えをもとにみんなで話し合いました。話し合いは、司会を決めてグループでおこないました。

4年 P.64-65

学習問題について考えたことを話し合うなかで、学習問題をつくったときには出てこなかった疑問が出てきます。(囲みA)そして、そのより深く考えたい問題を「さらに考えたい問題」として例示しています。(囲みB)

3 さらに考えたい問題をほりさげ、よりよい未来をつくるページ

水は、いつでもどこでも手に入るものなのだろうか。

毎日水が使えること

2018(平成30)年におこった大阪北部地震のときは、水道管がこわれるなどの被害を受け、枚方市や高槻市など、多くの人が水を使えなくなりました。

安全な水を使えることは、当たり前ではないんだね。

「さらに考えたい問題」について、資料などを用いてほりさげて追究できるようにしています。

4年 P.66

「さらに考えたい問題」について追究し、考えたことを話し合う協働的な学習のようす(「深め合い」活動)を漫画形式で例示しています。

一つの学習問題だけでは追究できないような、一歩深まった二つ目の学習問題を自然に追究することができるのだね。



かけがえない水をたいせつに使うには、どうしたらよいのだろうか。

カードにまとめる

「さらに考えたい問題」について、自分の考えをカードにまとめました。そして、聞くことをたいせつにした「深め合い」活動をしました。

一人目の発表

もしも安全な水が手に入らなくなったら

わたしは、水が使えることを当たり前前思っているが、災害で水道が止まったときや、世界の水不足などの問題についても考えた。

感想

このときにも学習したけれど、ほかの地いきと協力関係を結んでいるから、すぐに対応できたんだね。

二つ目の発表

わたしは、水はさまざまな資源であると思ったので、それを守るためには、自然をたいせつにすることが必要だと考え、カードにまとめました。

わたしたち、水は、川や井戸の水をくんでいたんだね。今はじょう水場できれいにしているから、今のほうが安全・安心だと思ったよ。

みんなのカードを見ているうちに、水は、だれもが使える資源であるとともに、みんなが守らなければいけないものかと思ったよ。

4年 P.70-71

漫画にすることで、どのように意見を出し合い、深め合えばよいのかイメージしやすくしています。そして、考えの深まりや変容を読み取り、つかむことができます。

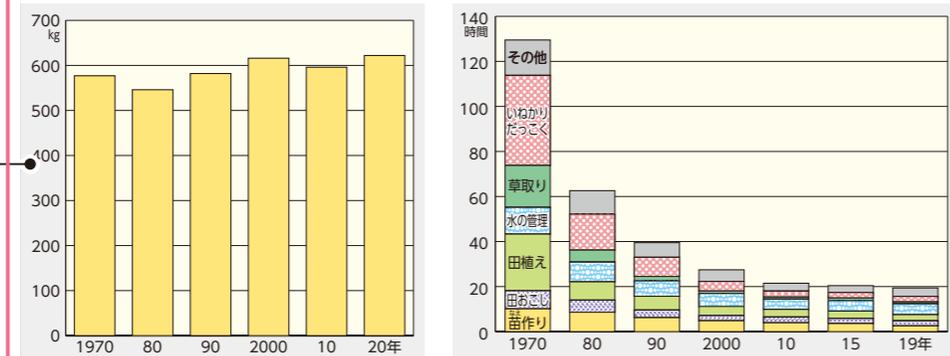
詳しくは本冊 18~19ページへ

見開きごとに問題解決！学習を積み重ねよう

基本的に1見開き1時間で授業を進めやすくしています。

1時間ごとに問題解決的な学習を展開できるようにくふうしています。

問題を発見したり、追究・解決したりするために必要な資料を、わかりやすく掲載しました。



①山形県の10aあたりの米の生産量のうつり変わり (作況調査ほか) ②山形県の10aあたりの年間耕作時間のうつり変わり (東北農林水産統計年報ほか)



図版の提示
追究を助けるよう、資料には図版番号をつけ、誰でも読み取りやすい色づかいにしました。
詳しくは本冊 34~35ページへ

わたし(たち)の問題

学習のはじめに生まれたり、学習を進めるなかで生まれたりした子どもの素朴な疑問などを示しています。

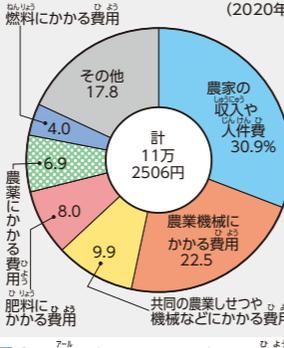
庄内平野では、どのようにして、米を大量に生産しているのだろう。

いねかりやだっこく、田植えなどの作業時間が年々減っているね。

りこさんたちは、①と②のグラフを見て、読み取ったことを出しました。

米の生産量が多くなると、耕作時間が長くなりそうなのに、短くなったのはなぜかな。

話し合いて、耕作時間の減少と生産量との関わりが気になり、五十嵐さんにたずねました。



③10aの水田にかかる1年間の費用の内わけ (農家1戸の全国平均) (農業経営統計調査)

米農家の五十嵐さんからのメール
65年ほど前から農作業で農業機械を使うようになりました。今では多くの作業で機械を使うようになり、農作業にかかる時間が短くなりました。
しかし、農業機械はねだんが高く、燃料代や修理代もかかるため、農家の負担が大きくなっています。そこで、ほかの農家と共同で機械を買入れたり、収穫した米を共同でかわかしたりして、かかる費用を少なくするようにしている農家もいます。

問題発見

追究

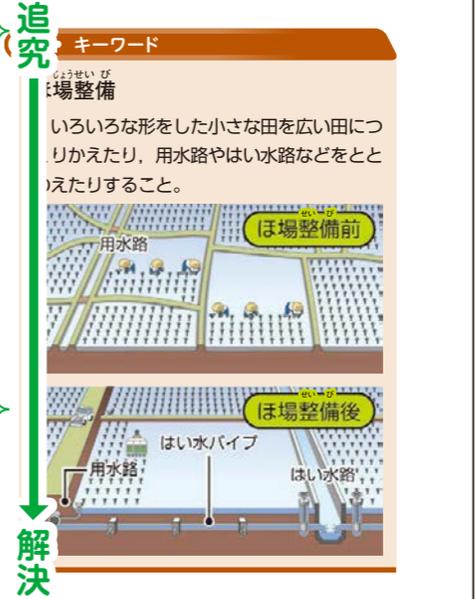
りこさんたちは、④の左と右の写真を比べて、どうして田の形や大きさをつくりかえているのかきもんに思い、調べました。

庄内平野では、60年ほど前からほ場整備がおこなわれてきました。ほ場整備をすると、田や農道が広がるので、大型の機械が使いやすくなります。また、用水路やはい水路もととのえられるため、川から遠くはなれた場所でも水が十分に使えるようになります。

そのあと、機械化やほ場整備で米作りにどのような変化があったのか、話し合いました。

ほ場整備をすると、どの田でも農作業がしやすいし、農業機械も使いやすいね。
農業機械を使うことで、農作業の時間を減らすことができたんだね。

④ほ場整備前(左)とほ場整備後(右) (山形県鮭川村) 山形県では、小さい田30aの広さの長方形の田につくりかえ、ほ場整備を進めてきました。最近でさらに一つの田を1haの広さにする事も進められています。



二次元コードを設定しています。コードを読み取ると、動画やシミュレーション、ワークシートなどのコンテンツを利用でき、深く追究することができます。
詳しくは本冊 26~29ページへ

学習活動の本文を読むと、見開きページでどのような活動をすればよいか、一目でわかります。
詳しくは本冊 14~15ページへ

1時間の学習が、問題発見、追究、解決の流れになっています。

86 問題を追究・解決する力を身につけよう

87

主体的・対話的で深い学びを実現する



子ども一人ひとりの“知りたい!”という思いをたいせつにし、みんなとともに考える子どもを育てます。

- 読み取りやすい本文で学習活動をサポート……………14
- “生きて働く”知識と技能を多様な視点から育てる……………16
- ひとり⇔みんな 耳を傾け合う「深め合い」活動……………18

深く知ることができるようになるには考えることが大事なんだ。



自分の考えを深めることをめざします



話し合うことが楽しい学習をめざします



みんなどんな話し合いをしているのかな。

ここがイチオシ!

協働的な学びを「深め合い」活動として紙面化!

深め合い

ひろさんと、りこさんの感想を聞いて考えが変わってきたよ。

おたがいの^{じんけん}人権を^{そんちよう}尊重してこそその^{しゅけん}国民主権だと思ふし、^{じんけん}基本的人権をたいせつにすれば、戦争をすることもないものね。

ゆあ

りこ

でも、^{じんけん}基本的人権が、十分に守られていない問題もあったよね。国民^{しゅけん}主権や平和主義にも、同じような問題があるんじゃないかな。

れん

ひろと

^{けんぽう}憲法の考え方を生かしていくためにも、問題を解決していく必要があるよね。

読み取りやすい本文で 学習活動をサポート

文章を正確に読み取れるように、本文を**三つの役割**に分けています。

↓子どもたちが、この見開きでどんな学習をするのか、よくわかります。また、教師にも、どのように学習を進めていけばよいか、わかりやすい構成となっています。

なぜ本文を三つに分けたの？

最近、長文の読解能力の低下が問題になっています。そこで、どこに何が書かれているかすぐわかり、正確に読み取れるよう、文章を三つに分け、学習活動をサポートします。

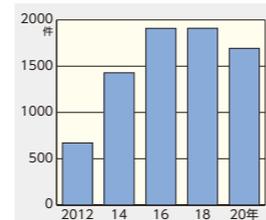


① ①見つけてみよう、やさしいところ、気になるところ

人権に関する問題は、どのように解決していけばいいのだろう。

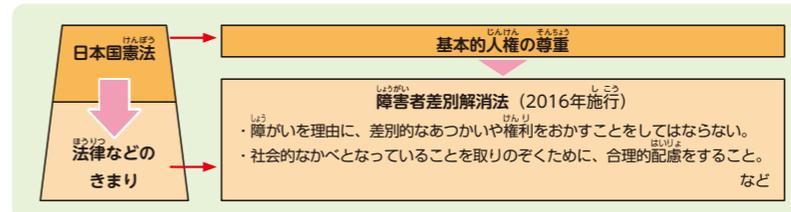
人権に関する問題への取り組み ひろとさんたちは、人権についての情報を提供したり、学習や交流の場としての役割をはたしたりしている、福岡市の人権啓発センターで話を聞くことにしました。

人権啓発センターの人の話 わたしたちの身のまわりには、資料①のように、障がい者や女性、高齢者、子ども、外国人などの人権に関するさまざまな問題があります。インターネットやSNSの利用についても、本来なら便利で生活に役立つものですが、人権がおかれる問題がおきています。人権啓発センターでは、一人一人の人権が尊重されるように、国が作った法律などにもとづいて、市民からの相談に応じたり、広報誌などで啓発活動をおこなったりしています。



② SNSやインターネット上で人権がおかれた問題の件数 (2021年 法務省資料)

16 問題を追究・解決する力を身につけよう



③ 日本国憲法と法律の関係 障害者差別解消法を例としています。

国は、人権がおかれる問題を解決するために、みんなが守るべききまりとなる、さまざまな法律をつくっています。たとえば、障がい者の差別に関する法律の一つに、障害者差別解消法があります。この法律は、障がいを理由にした差別的なあつかいや、権利をおかすことを禁止しています。福岡市では、この法律にもとづいて、企業や学校など、社会のあらゆる場面でも、人権保護に関する情報を提供したり、指導や助言などをおこなったりしています。このような法律を話し合っついたり、法律にもとづいて基本的人権を尊重する社会をつくったりしていくことは、政治のたいせつな役割なのです。

2 キーワード
法律
社会の秩序を守り、国民の生活を豊かにするために、国が定めたきまりです。



④ だれもが使いやすい地下鉄の施設 (福岡市)

ひろとさんたちは、調べたことをもとに、基本的人権について考えたことを、話し合うことにしました。

おたがいの権利を尊重し、ともに理解し合うことで、差別のない社会をつくるのがたいせつだね。
基本的人権の尊重は、憲法の前文にあった国民主権と関係しているのではないかな。

やってみよう
障害者差別解消法のほかに、人権を守るための、どんな取り組みがあるか調べてみよう。

何が書いてあるかわかりやすいね。



〇〇さんの話

「〇〇さんの話」では、さまざまな人たちの話を取り上げることで、より実感をもって学習内容に共感できるようにしました。このほかに、直接働く人に話を聞く、メールや手紙でたずねるなど、多様な調べ方の形態も提示しました。

2 学習内容(知識の内容)

写真や地図、グラフなどと同じように、疑問を解決するために必要な資料の内容が書かれています。

3 友だちの発言(思考力・判断力・表現力等を活用した話し合い)

友だちのわかったこと「!」や疑問に思ったこと「?」が書かれています。教科書を読む子どもたちが、調べたり考えたりするきっかけをつかんだり、自分の考えと比較したりすることができます。

“生きて働く”

知識と技能を多様な視点から育てる

「見方・考え方コーナー」の充実

社会的な見方・考え方をはぐくみます。

社会的な見方・考え方とは……?

「視点や方法(考え方)」のことであり、特に小学校社会科では、「位置や空間的な広がり」「時期や時間の経過」「事象や人々の相互関係」が「視点(見方)」にあたり、「比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連づけたりすること」が「方法(考え方)」にあたります。

空間の視点

見方・考え方 **空間**

ぜんぽうこうえんぶん
前方後円墳の分布図
を見て、古墳がある地
域となない地域に着目し
て、ちがいを調べよう。

6年 P.81

時間の視点

見方・考え方 **時間**

生活の変化に着目して、
それぞれの時代のように
調べよう。

6年 P.75

関係の視点

見方・考え方 **関係**

日本国憲法の三つの
原則について、自分たち
の生活との関連に着目し
て考えよう。

6年 P.30

調査や表現活動、読み取りをサポートする各コーナー

見学や観察などの仕方や、資料の読み取りをサポートするコーナーなどを設定し、知識及び技能を確実に習得できるようにしました。

学び方・調べ方コーナー

「学び方・調べ方コーナー」を、発達の段階に応じてより充実させ、観察力・資料活用力や表現力の基礎を身につけられるようにしました。

学び方・調べ方コーナー
見る・調べる

観察や調査に関わる学習技能を示しています。

学び方・調べ方コーナー
読み取る

資料などの読み取りや活用に関わる学習技能を示しています。「確かめる」、「見つける」、「考える」の三つのステップで手順をわかりやすく示しました。

学び方・調べ方コーナー
表現する

表現活動に関わる学習技能を示しています。

やってみようコーナー

知識や学習技能を確実に習得できるよう、学習や生活の基盤となる知識をくり返し使ったり、地図帳で調べたり、作業をしたりすることを促します。

まなさんたちは、自分たちのノートにまとめた「区への提案」について、発表しました。

区は、いろいろな取り組みをして、待機児童を減らすことに成功していたよ。しかし、保育園を新しくつくと、そこで働く保育士などの人たちが必要になるね。

わたしは、保育士になりたい人が増えるといなどと思って、その仕事について、知ってもらう機会をつくる提案をしたいです。

待機児童の問題を学習したけれど、わたしは、自然災害の学習を思い出して、災害に対する提案をしてみたいな。

れんさんは、みんなとの話し合いのあと、次のように、ノートにまとめました。

学び方・調べ方コーナー
表現する

提案のしかた

- 学習問題について考えたことをまとめる。
- 住民の願いや政治のはたらき、税金などについて、わたしの考えをまとめる。
- 身近な地域や自然災害などの問題について、わたしの提案をし、提案に改善するところがあれば、修正したり、追加したりする。

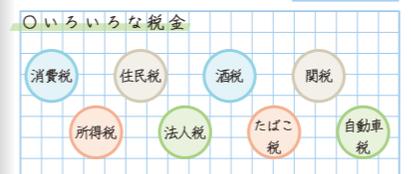
やってみよう

学習したことのほかにも、自分が提案したいテーマを選んでみよう。

れんさんのノート

○学習問題について考えたこと

- ・住民やいろいろな組織、人々が、その役割をはたしてこそ、待機児童の問題を解決することができた。
- 政治のはたらきについてわかったこと
- ・国や都道府県、市(区)町村の政治は、それぞれが深く関わり合っている。



○わたしの考え

- ・政治には、待機児童の問題のほかにも、いろいろな課題がある。国や都道府県、市(区)町村が直面している問題や課題について、もっと調べてみたい。
- ・4年生で学習した自然災害への対策について、予算など政治のはたらきが大きく関わっていると思う。

○わたしが考えた区への提案

- ・近年、日本各地では自然災害が多く発生しているのだから、ハザードマップだけでなく、バーチャル避難体験などができるシステムをつくってはどうか。
- ・避難訓練に参加していない人に参加してもらえるよう、参加すればすてきなバッジなどをプレゼントしてはどうか。

6年 P.45

キーワード

本文や資料に出てきた、その単元を学ぶうえで不可欠な社会科用語を解説しています。

キーワード

政策

国民や住民の願いを実現するために、議会などでの話し合いをもとにした、問題や課題を解決するための取り組みのことです。

今回は、子どもたちから出てきた見方・考え方を評価する内容を取り入れました。

⑤のグラフの共働き世帯の数は、ずっと増えているね。2000年ごろには、専業主婦世帯の数より多くなっているよ。

わたしの家でも、お父さんもお母さんも一日中働いていて、帰りはおそいよ。

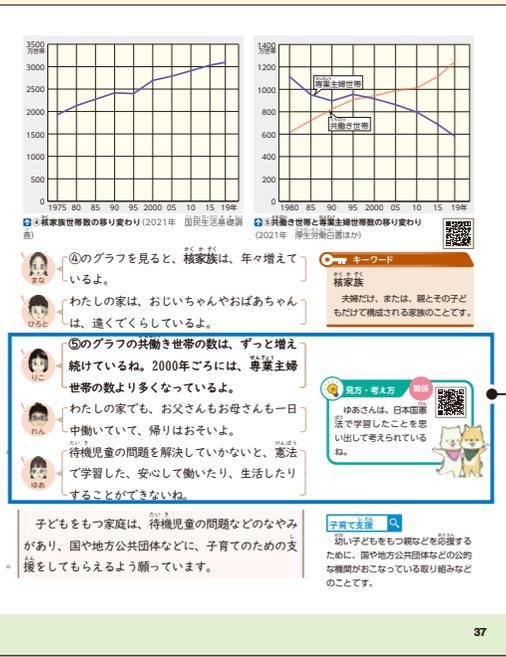
待機児童の問題を解決していかないと、憲法で学習した、安心して働いたり、生活したりすることができないね。

見方・考え方 **関係**

ゆあさんは、日本国憲法で学習したことを思い出して考えられているね。

三つの視点からいろいろな知識を身につけるんだ。

友だちの考えを取り入れて考えられるようになるね。



6年 P.37

ひとり⇄みんな 耳を傾け合う「深め合い」活動

協働的な
学びを実現

「深め合い」活動は、子どもたちが互いに話し合い、聞き合うことで、多面的な思考や理解へと高め合っていく活動です。そうすることで、**主体的・対話的で深い学び**を実現します。

※「深め合い」活動は、学習指導要領で、選択・判断、もしくは多面的・多角的に考えることが求められている単元の「学習問題」の交流場面、または「さらに考えたい問題」の交流場面で設定しています。

「深め合い」活動のポイント

「深め合い」活動でいちばん重要なことは「聞く」ことです。友だちの発言を最後まで聞くことや、クラスの友だちみんなの声に耳を傾けること。これが、「深め合い」活動の基本となります。



実際の「深め合い」活動については、こちら！

一人目の発表

一人目の発表としてれんさんは、これまで学習したことをふまえ、自分の心に残っている内容を相手に伝えています。ただ、学習した内容を発表するだけでなく、なぜそのことがらを選んだのか、その理由をきちんと述べています。

確かめ・質問

れんさんの発表に対して、りこさんは、内容を確認したあと、さらに聞きたい内容を質問しています。

質問への答え

りこさんから質問を受けたれんさんは、自分の考えを深めながら、それに答えています。

感想

れんさんとりこさんのやり取りを聞いていたひろとさんは、れんさんの発表をふまえて、自分の感想を伝えています。

？ 日本国憲法と政治は、わたしたちのくらしとどのようにつながっているのだろう。

わたしたちのくらしとのつながり ひろとさんたちは、学習問題について、発表資料をタブレットでつくり、「深め合い」をしました。

学び方・調べ方コーナー
表現する
「深め合い」の進め方
●話し手は、発表資料をもとに、自分の考えを話す。
●聞き手は、話し手の考えをしっかりと聞き、内容を確認したり、質問したりする。
●話し手は、質問にこたえる。
●聞き手は、話し手に感想を伝える。
●聞き手と話し手を交代する。
●おたがいに、はじめの自分の考えを見直し、クラスで深め合いをする。
●このような方法で、はじめの考えを修正したり、確かなものにした後、新たに付け加えたりしていく。

一人目の発表

国会
内閣
国民
裁判所

わたしは、学習問題の答えを図と表にまとめてみたよ。

①図と表にまとめた例

国民主権
基本的人権の尊重
平和主義

②プレゼンテーションにまとめた例

日本国憲法が定めている平和主義は、わたしたちだけでなく、世界の人々にとってもかかせないものだと思うよ。

わたしは、プレゼンのソフトを使ってまとめてみたよ。

国民主権の政治
日本国憲法の三つの原則
学習問題
日本国憲法と政治は、わたしたちのくらしとどのようにつながっているのだろう。
答え

③感想

二人の考えは、人々の幸せなくらしを願っているという点では、同じだね。

どの原則か、という考え方はなく、三つの原則は、たがいにわり合っているのだと思うよ。

確かめ・質問

れんさんは、憲法の三つの原則が土台になって、国民を中心とした政治がおこなわれている、と考えたんだね。でも、どうして、国民主権と基本的人権の尊重が、くらしに最も深くつながっているのかな。

質問への答え

選挙や人権を尊重する取り組みなど、国民主権と基本的人権につながることで多いから、そう考えたんだ。

感想

それだけ、くらしのいろいろなところで、政治のはたらきが見られるということだね。

見方・考え方 関係
日本国憲法の三つの原則について、自分たちの生活との関連に着目して考えよう。

考えの深まり

二人目の発表

国民主権の政治
日本国憲法の三つの原則
学習問題
日本国憲法と政治は、わたしたちのくらしとどのようにつながっているのだろう。
答え

②プレゼンテーションにまとめた例

日本国憲法が定めている平和主義は、わたしたちだけでなく、世界の人々にとってもかかせないものだと思うよ。

わたしは、プレゼンのソフトを使ってまとめてみたよ。

国民主権の政治
日本国憲法の三つの原則
学習問題
日本国憲法と政治は、わたしたちのくらしとどのようにつながっているのだろう。
答え

③感想

二人の考えは、人々の幸せなくらしを願っているという点では、同じだね。

どの原則か、という考え方はなく、三つの原則は、たがいにわり合っているのだと思うよ。

深め合い(二人の発表を聞いて)

ひろとさんと、りこさんの感想を聞いて考えが変わってきたよ。

おたがいの人権を尊重してこそその国民主権だと思うし、基本的人権をたいせつにすれば、戦争をすることもないものね。

でも、基本的人権が、十分に守られていない問題もあったよね。国民主権や平和主義にも、同じような問題があるんじゃないかな。

憲法の考え方を生かしていくためにも、問題を解決していく必要があるよね。

深め合いを終えたひろとさんたちは、次に、どんな問題が話し合われているか調べ、考えたことをまとめることにしました。

さらに考えたい問題

憲法の考え方を生かしていくために、どんな問題が話し合われているのだろう。

深め合い(二人の発表を聞いて)

学年に応じた話し合い活動を通じて、すぐれた表現や異なる視点からの考えを比較したり、関連づけたり、総合したりすることで、多面的な思考や理解へと導くことができます。

二人目の発表

次に二人目の発表として、ゆあさんは、れんさんとは違った視点で発表しています。このときにも、その内容を選んだ理由について、述べています。

確かめ・質問

ゆあさんの発表について、れんさんは確かめをしつつ、さらにふみこんで質問しています。

質問への答え

れんさんの質問に答えながら、ゆあさんは自分の考えを深めています。

感想

ゆあさんとれんさんのやり取りを聞いていたひろとさんとりこさんは、それぞれの感想を伝えています。

ポイント

3

SDGsを 自分ごととして考える



持続可能な社会の実現に向け、
自ら考え、行動ができる子どもを育てます。

→SDGs×学習内容 考えることからはじめよう …… 22

→SDGsで未来を考え行動する学びを …… 24

自分に
何が出来るかを
考える力を
つけるんだね。



ここが
イチオシ!

貼ってはがせるSDGsの目標シールで楽しく取り組める!

全学年共通! 巻末特別付録



3年 ~ 6年 巻末付録



各学年の巻末に、SDGsの目標シールをご用意しました。
総合的な学習などにも幅広く活用いただけます。

SDGsで**社会の諸課題**を
多角的に捉えられる学び



自らの意思決定で
未来を切り拓く学び



SDGs × 学習内容 考えることから始めよう

「考えよう!SDGsコーナー」の新設

SDGsを通して、日本や世界で見られる諸課題への意識を高められるよう、コーナーを新設しました。各ページの学習内容に関連づけて、課題や解決するための取り組みを紹介しています。3~6年で合計32か所と、数多く設けています。

さらに、海洋ごみのことが気になっていたみなさんたちは、安井さんにくわしく聞いてみました。

循環社会推進課の安井さんの話

海洋ごみの多くはプラスチックごみです。そこで、大分県では、プラスチックごみをリサイクルする取り組みに力を入れています。

ブラマークのついている「資源プラごみ」を分別してリサイクルすることで、もえるごみが増え、灰もへるため、うめ立て場が長く使えることにもつながります。市町村、会社や地いきの工場と協力して進めています。

このような取り組みを進めていますが、やほりたいせつなことは、一人一人がごみをへらすという意識をもつことです。

① ごみをへらすための取り組みは、県や市、地いきの工場などが協力しながら進められているんだね。

② 大分県では、「おおいっくし作戦」という取り組みもしているそうだよ。

③ ごみをへらすために、わたしたちができることはないかな。

考えよう!SDGs

世界中で、多くの海洋ごみが見つかっています。日本では、海洋のプラスチックごみをへらすことなどを目的に、2020(令和2)年から、レジぶくろが有料化されました。海のゆたかさを守り、次の世代へ残すための取り組みがおこなわれています。

②「おおいっくし作戦」のシンボルマーク 2016(平成28)年から、大分県で「おおいっくし作戦」がはじまりました。まちづくり・ひとづくり・なかまづくりを柱として、かんきょう保全活動を通じて、地いきの活性化をめざしています。

③「おおいっくし作戦」の活動の様子(天分県佐伯市) 地いきのごみ拾いを通じて、交流をおこなったり、かんきょう問題に関心をもつ人材を育成したりしています。

4年 P.47



学んだことと結びつけて、無理なくSDGsについて考えられそう!

考えよう!SDGs

世界中で、多くの海洋ごみが見つかっています。日本では、海洋のプラスチックごみをへらすことなどを目的に、2020(令和2)年から、レジぶくろが有料化されました。海のゆたかさを守り、次の世代へ残すための取り組みがおこなわれています。

子どもたちがSDGsについて具体的に調べたり、さまざまな視点から考えたりすることができます。

二次元コードからは、目標や事例をより深く捉えることができるワークシートへアクセスできます。

ごみ問題に取り組む
考えよう!SDGsコーナー(教科書P.46~47)

世界中で、多くの海洋ごみが見つかっています。海がよごれたり、魚や生き物、わたしたちの生活にどのようなえいきょうがあるのか、考えてみましょう。

●どんな目標があるの?

14 海の資源を守り、たいせつに使う

・海洋ごみなど、特に陸上の人間の活動によるものをふくめ、あらゆる海のおせんをふせぎ、大きくへらす。

●今、どんなようすなの?

・世界中で年間800万トンの海洋ごみ(東京スカイツリーおよそ222基分)が発生しており、2050年には魚より海洋ごみの量が多くなると言われている。

・ペットボトルやレジぶくろなど街で発生したごみが、海洋ごみの8割をしめている。

・プラスチックごみやポリぶくろをえさとまちがえて食べてしまったり、あみにかまったりして、魚類だけでなく、ウミガメや海鳥、クジラなどがきずつき、死んでしまっている。

・漁業や観光業に大きなえいきょうがあるだけでなく、船の運航をさまたげている。

●ゆたかで美しい海を未来に引きつぐためには、一人一人のごみをへらす意識や行動がたいせつです。海のかんきょうを守るために、あなたや家の人が心がけていることに○をつけましょう。

身近な事例から考える

考えよう!SDGs

3 すべての人に健康と福祉を

世界では、毎年およそ135万人が交通事故でなくなっています。交通事故で命を落とす人をへらすため、それぞれの地いきでひつような取り組みがおこなわれています。たとえば、体が不自由な人や目が不自由な人のための信号のボタンをふやすことも、その一つです。どんな人も安全にまちをいどうできるように、せつやせつびをくふうすることがたいせつです。



3年 P.119

世界の課題へ視点を広げて考える

考えよう!SDGs

6 安全な水とトイレを世界中に

世界全体では、およそ4人に1人が、今も安全な飲み水を手に入れることができません。健康なくらしをささえる安全な水やトイレを、だれもが利用できるようにすることが、求められています。



③ 川の水をくむ子ども(ウガンダ)

4年 P.66

複数の目標から多角的に考える

考えよう!SDGs

1 貧困をなくそう

8 働きがいも経済成長も

世界の子どものおよそ10人に1人が、今も農園などで働いています。アフリカでは、チョコレートやココアの原料になるカカオのさいばいや収穫のために、学校に行けない子どももいます。外国から安く品物を輸入することで、相手の国がますます貧しくなってしまうことがあるのです。



④ 子どもが働いているようす(コートジボワール)

5年 P.181

「考えよう!SDGsコーナー」取り扱い目標一覧

3~6年の4年間で、1~17のすべての目標を取り扱っています。各学年の発達の段階に合わせて、適切にコーナーを配置しています。

3年

3 すべての人に健康と福祉を

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくばない暮らし

17 パートナリシップで目標を達成しよう

4年

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

11 住み続けられるまちづくりを

14 海の資源を守り、たいせつに使う

15 陸の豊かさも守ろう

5年

1 貧困をなくそう

2 質の高い教育をみんなに

3 すべての人に健康と福祉を

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 住み続けられるまちづくりを

8 働きがいも経済成長も

9 産業と雇用革新をすすめる

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくばない暮らし

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の資源を守り、たいせつに使う

15 陸の豊かさも守ろう

6年

3 すべての人に健康と福祉を

5 ジェンダー平等を実現しよう

8 働きがいも経済成長も

10 人や国ごとの平等をすすめる

11 住み続けられるまちづくりを

16 平和と公正をすすめる

SDGsで未来を考え行動する学びを

子どもの社会参画を促します!

特設ページ「未来につながる～わたしたちのSDGs～」

各単元の問題意識や興味・関心から、子どもがSDGsの達成を自分ごととして考え、行動できるきっかけとなる教材を豊富に掲載しています。このページは、**子どもが主体的に取り組めるとともに個別最適な学習**ができるよう、授業時数に含まれていません。

子どもが興味・関心をもった内容について、自分で追究を進められるような展開としています。

追究したことをまとめたり、どのような取り組みがしたいか自分ごととして考えたりする場面を設定しました。

このページは、児童が主体的に調べたいと思った内容をあつickingしているため、掲載時間を設定していません。

6年 P.104-105

さまざまなパターンがあります!
子ども自身が追究を進める展開のほかに、読みもの資料として、取り組み事例を紹介するページも用意しています。自主学习などに、ぜひご活用ください。

4年 P.78-79

特設ページ テーマ一覧

- 3年**
 - 市に昔からのこるたてもや自然を未来に受けつぐために (P.42-43)
 - 食べられずにすてられてしまう食品をへらすために (P.92-93)
 - まちをみんなで安全にしていけるために (P.126-127)
 - だれもが出かけやすいまちづくり (P.156-157)
- 4年**
 - 石川県に昔から受けつがれてきた産業 (P.28-29)
 - 多摩川の水を守るために (P.78-79)
 - 水害にそなえて自分たちにできることを考えよう (P.118-119)
 - 伝統を受けつぎ、未来につなぐ (P.168-169)
 - 高千穂郷・椎葉山の産業や自然を未来に残すために (P.202-203)
- 5年**
 - バイオマス産業都市「エネルギーと資源が循環するまち」～佐賀市の取り組み～ (P.66-67)
 - 限りある食料資源をたいせつにするために～横浜市の取り組み～ (P.134-135)
 - 工業生産のこれからのSDGsの問題～東広島市の取り組み～ (P.192-193)
 - 持続可能都市「スマートシティ」～宇都宮市の取り組み～ (P.236-237)
 - 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博) (P.280-281)
- 6年**
 - 「彦根市子ども議会」で政治体験～よりよい市をつくりだすために～ (P.58-59)
 - 縄文時代の人々のちえをわたしたちの生活に生かす (P.104-105)
 - 歴史と文化がおりなすまち 古都鎌倉 (P.124-125)
 - 感染症とたたかい、人々の命を守った上杉鷹山と後藤新平 (P.164-165)
 - 日光の世界遺産を調べよう～伝統的な技術と保存活動～ (P.194-195)
 - 安心して、くらし続けられるまちづくりに向けて (P.230-231)
 - 地球上の「だれ一人取り残さない」ことの実現に向けて～自分にできること～ (P.272-273)

全学年共通! 巻末特別付録「SDGsの目標シール」

SDGsの目標シールは、学年の学習をふり返る巻末ページなどでも使えます!

詳しくは本冊32ページへ



SDGsの目標シールを貼るスペースを設けています。学習したことが、17の目標とどのように関係するのか、**自分の考えを深めたり、友だちと交流したりするきっかけづくりに最適です。**

3年～6年 巻末付録

もっと知りたい!に答える/ 教科書QRコンテンツ

教科書QRコンテンツのご紹介

教科書紙面に掲載されている二次元コードを読み取ると、アプリケーションや動画、ワークシート、画像などのコンテンツにアクセスすることができます。

コンテンツは全部で8種類!

教科書QRコンテンツの種類一覧

アプリケーション	動画
ワークシート	シミュレーション
スライドショー	画像
外部リンク	関連資料



QRコンテンツの紹介動画はこちら!

二次元コードをタブレットなどで読み取ると...



授業に役立つコンテンツが見られます!



「すごろく×カード」の実況動画はこちら!

アプリケーション「すごろく×カード」

すごろくをしながら日本全国をめぐる。楽しみながら、都道府県の位置や名称、特色に親しむことができます。



都道府県のマスに止まると、その都道府県の代表的な「食べ物」、「工芸品など」、「文化財・祭りなど」を記したカードを獲得することができます。



↑獲得できるカードの例

4・5・6年の学習と関連したテーマを、全部で10種類ご用意しています。



QRコンテンツが見られるウェブサイトはこちら!

教育のICT化に伴い、個別最適な学びを支えるコンテンツを多数ご用意しました。

動画

その場の空気や臨場感を伝える動画、子どもたちの興味・関心を惹きつける動画を豊富にご用意しています。

インタビュー



3年 P.18 姫路市役所白浜支所の陰山さんの話

実際の制作風景



4年 P.174 備前焼ができるまで

技能の習得に



5年 P.13 方位の調べ方

くわしい解説

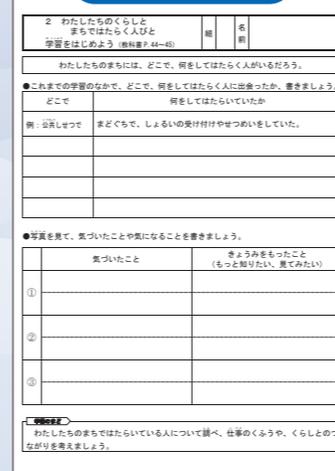


6年 P.72 三内丸山遺跡の復元模型

ワークシート

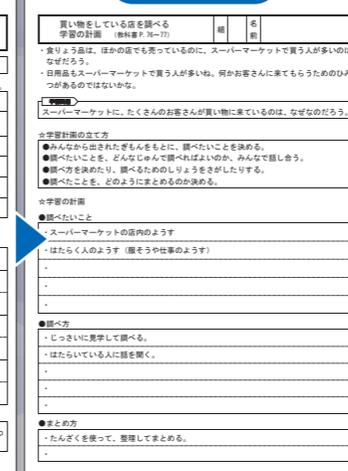
単元のはじまりや学習の計画づくり、まとめの各ページにワークシートを設定し、問題解決的な学習をしっかりサポートしています。

学習をはじめよう



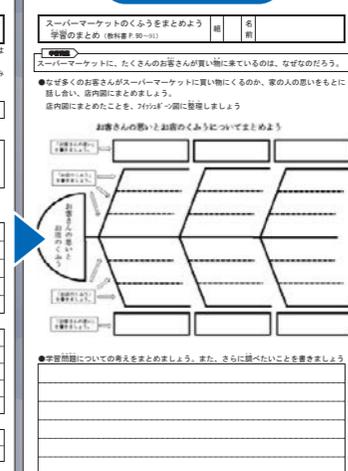
3年 P.44 学習をはじめよう

学習の計画



3年 P.77 学習の計画

学習のまとめ



3年 P.91 学習のまとめ

思考ツールを使ったり、社会的な見方・考え方を働かせたり、SDGsについて考えたりすることができるワークシートもご用意しています。

シミュレーション

地図・グラフの凡例別表示や、物事のしくみや流れを理解するのに役立つコンテンツをご用意しています。

5年 P.70 ひろとさんがつくった産地マップ

4年 P.69 二つのグラフの読み取り方

「学び方・調べ方コーナー」に設定したシミュレーションから、コーナー内の本文と、関連する図版の対応関係がわかるようになっています。

シミュレーションのコンテンツがあることで地図やグラフがよりわかりやすいね！



スライドショー

時間の移り変わりをスライドショーですっきりとまとめ、変化を実感しやすくしています。

6年 P.186 このころの日本の領土の移り変わり

画像

教科書掲載の写真や学習内容と関連する画像資料をコンテンツ化しました。社会科の学習に欠かせない、読み取りを楽しくさせるコンテンツです。

3年～6年 SDGsの17の目標

6年 P.75 弥生人の1年のくらし

画像のコンテンツで詳細な読み取りや比較ができそうだね。



外部リンク

関係する自治体や企業のウェブサイト、NHK for School の動画へリンクすることができます。

3年 P.50 かまぼこができるまで

4年 P.51 下水しよりのしくみ

関連資料

子どもたちが学習しやすくなるような学習した内容に関連した資料を掲載しています。

6年 P.66 等尺年表



5年 P.148 組み立て工場の中のような

期待感を高める巻頭ページ

巻頭ページを8ページに拡張し、学習を見通すために役に立つページを設定しています。

1 社会科をはじめよう！ 学年の学習内容をまとめました



各学年で学習する内容が一目でわかるね！

前の学年の学習をふり返るとともに、当該学年の学習内容を簡単にまとめています。3年では生活科での既習事項をふまえ、社会科への関心を高めることができます。

各単元の象徴的な写真を掲載しています。写真から素朴な疑問や興味・関心を引き出すことができます。

5年生の社会科が はじまります！

4年生の社会科では、自分たちが住む都道府県の特徴や、健康で安全な暮らしをつくる人々のたらしき、伝統や文化などについて学習してきました。5年生では、その都道府県からさらに広がって、日本全体のことを学習していきます。どのようなことを学習するのか見てみましょう。

情報産業
新聞は、どのようにつくられているのだろう。アイスクリームをつくっている会社の人々は、パソコンで何をみているのかな。

国土の環境
木を切っているようだね。もう1まいの写真は、まちがけわりでおおわれているよ。何があったのかな。

食料生産
工場がたくさんあるね。どこかようすだろう。自動車をつくっている写真もあるけれど、どのようにつくっているのだろう。

工業生産
工場が集まっているようす

日本の国土と暮らし
日本には、いろいろな地形や気候の場所があるみたいだね。どこかの写真だろう。

地球儀
地球儀を見ているね。日本はどこにあるのかな。

米の収穫
わたしたちが毎日食べているものは、どこでどのようにつくられているのかな。

水あけ
水を切っているようす

自動工場
工場がたくさんあるね。どこかようすだろう。自動車をつくっている写真もあるけれど、どのようにつくっているのだろう。

北海道のようす
沖縄島のようす

5年 表2-P.1

写真から気づいたことや疑問に思ったことを、キャラクターが発言しています。教科書を見る子どもが、より学習イメージをふくらませることができます。

2 学習をイメージし、「わくわく」を引き出す！ 社会科の学習の進め方を示しています



5年 P.2-3

社会科の学習の進め方をまとめています。ぱっと見て進め方がわかるので、学習をイメージすることができ、新学年の学習への期待感を高めることができます。

詳しくは本冊6ページへ

3 自主学習もサポート！もくじや教科書の使い方ページ

5年 P.6-7

もくじでは、イラストを入れて内容をイメージしやすいようにしています。また、教科書のコーナーの説明があるので、自分でも学習を進めることができます。

5年 P.4-5

教科書の使い方が一目でわかります。SDGsについてもここで説明し、いつでも見返せるようにしています。

次学年につなぐ巻末ページ

巻末ページに、学習をふり返り、より確実に資質・能力を身につけるために役に立つページを設定しています。

1 各学年の学習内容をふり返ります

その学年で学習した内容を、見開きページでふり返ることができるページです。全学年に設定しています。

4年生

学習内容をふり返って

4年生で何を学んだか、ふり返ってみよう。

1 わたしたちの県

れんさんは、学んだことをノートにまとめ、発表しました。

47都道府県の名前と位置を学びました。わたしたちの県の地形やおもな産業、交通、市町村の位置について、調べました。

SDGsの目標シールを貼ろう。

2 健康な暮らしを守る仕事

まなさんは、学んだことをリーフレットを使って発表し、みんなで話し合いました。

わたしたちの健康な暮らしは、さまざまな事業にささげられています。

SDGsの目標シールを貼ろう。

3 しぜんさいがい 自然災害から人々を守る活動

ひろとさんは、学んだことを黒板を使って発表し、自分の考えをみんなに伝えました。

風水害などの自然災害にそなえるためのせつがありました。防災の取り組みは、地いさや関係機関の人々が協力して、進めていました。

SDGsの目標シールを貼ろう。

5 わたしたちの住んでいる県

りこさんは、学んだことをタブレットを使ってまとめ、話し合いました。

県内には、さまざまな特色のある地いさがあり、いろいろな人たちが協力し、まちづくりや産業の発展に力をそそいでいました。

SDGsの目標シールを貼ろう。

4 地いさの伝統や文化と、先人のはたらき

れんさんと、自分の考えを、とく

わたしたちは、伝統文化や先人のおこないを未来に伝えていくとわがかりがあると思うよ。

SDGsの目標シールを貼ろう。

巻末にSDGsの17の目標シールつき！社会科ではもちろん、総合的な学習などでもお使いいただけます。



端的にふり返りができるよう、学習してわかったことや、自分たちができることを話し合うよう示しています。

2 各学年で身につけた資質・能力をふり返ります

その学年でどのような力が身についたのか、インデックスにあわせてふり返ることができます。

4年生

どんな力が身についたのかな

問題の解決に向けて必要な情報を集め、追究する力

問題の解決に向けて必要な情報を集め、追究する力を身につけよう。

問題の解決に向けて必要な情報を集め、追究する力を身につけよう。

問題の解決に向けて必要な情報を集め、追究する力を身につけよう。

よりよい社会を考え、学習したことを生かそうとする力

問題の解決に向けて必要な情報を集め、追究する力を身につけよう。

問題の解決に向けて必要な情報を集め、追究する力を身につけよう。

問題の解決に向けて必要な情報を集め、追究する力を身につけよう。

4年 P.208-209

どのような力が身について、どのようなことができるようになったのか、キャラクターが教えてくれます。

3 次の学年への期待感を高めます

次の学年でどのようなことを学習するのか見通すことができます。6年では、小中連携をめざし、中学校への接続に配慮しています。中学校地理・歴史・公民でどのような学習をするのかを見通し、学習意欲を高めることができるようにしています。

5年生へ向かって

日本の国土と人々の暮らし

- 日本の国土と人々の暮らし

日本の国土のようすについて学習します。かんきょうにめぐる国土のよさや、産業と、わたしたちの暮らしの関わりを学習します。
- わたしたちの食生活をささえる食料生産

日本の農業や水産業などについて学習します。それらを調べることで、食料生産がわたしたちの暮らしにはたさずやくわりを考えていきます。
- 工業生産とわたしたちの暮らし

日本の工業生産について学習します。高い技術をもつ日本の工業の特色や、工業がわたしたちの暮らしにはたさずやくわりを考えていきます。
- 情報社会に生きるわたしたち

日本の産業と情報との関わりについて学習します。それらがわたしたちの暮らしにはたさずやくわりについて、考えていきます。
- 国土のかんきょうを守る

日本の国土のかんきょうについて学習します。国土のかんきょうとわたしたちの暮らしとの関わりを調べ、考えていきます。

5年 P.210-211

詳しくは本冊41ページへ

みんなにやさしいデザインで使いやすい!

ユニバーサルデザインに配慮した紙面で、すべての子どもたちが正しく情報を読み取ることができるようにしています。

文章に関するくふう

本文や各コーナーなどのデザインや表現をくふうし、誰にでも読み取りやすく、わかりやすいよう配慮しています。



① 国民の代表が話し合う国会のようす (衆議院本会議)

衆議院		参議院	
465人	定員	248人	
4年	任期	6年	(3年ごとに半数改選)
25才以上	立候補者	30才以上	
18才以上	投票できる人	18才以上	
あり	解散	なし	

② 衆議院と参議院のちがいを調べる

国会は、どのようなはたらきをしているのだろう。

国会のはたらき ひろとさんたちは、国会のはたらきについて、インターネットを利用して調べてみることにしました。

国会は、国の進む方向を決める機関で、衆議院と参議院があります(二院制)。国民の代表者である国会議員が、法律や国の収入と支出(予算)、外国と結んだ条約の承認などを話し合っています。

話し合いは、衆議院と参議院のそれぞれの本会議や委員会でおこなわれ、**多数決**で決められます。

まな 国会は、選挙で選ばれた国会議員が、話し合いをして多数決で決める場なんだね。

ひろと わたしたちの生活に身近な国民の祝日も、法律によって決められたんだね。

ひろとさんたちは、基本的人権の尊重について調べたときに学習した障害者差別解消法が、どのように成立したのかを調べてみました。



③ 国会議事堂 国会は衆議院と参議院の両院に分かれています。

キーワード
多数決
いちばん賛成の多い意見によって、ものごとを決めることです。国会では、賛成と反対が同数の場合は、議長がいずれかを決めます。

読み取りやすさに配慮

スムーズに読み進められるように、「わたし(たち)の問題」などについては、読みやすいまとまりで改行しています。

図版番号と矢印

資料には図版番号をつけ、指導をしやすいようくふうしています。また、図版番号の前には矢印を入れ、指している図版がどれかを、明確に示すようにしました。

本文のくふう

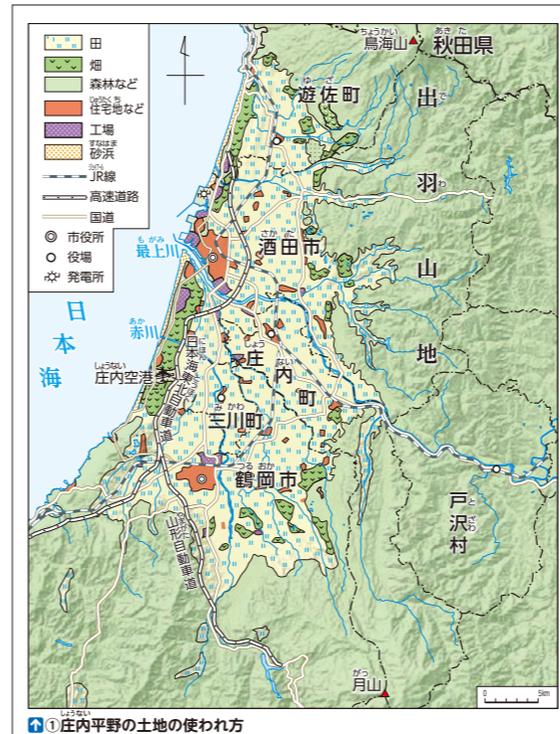
本文のフォントのサイズを大きくすることで、より読みやすくなりました。

書体のくふう

本文には、子どもが読みやすいよう**ユニバーサルデザインフォント(UDデジタル教科書体)**を使用しています。

ルビのくふう

原則、当該学年以上で学習する漢字とキーワードには、すべてルビ(ふりがな)を入れています。

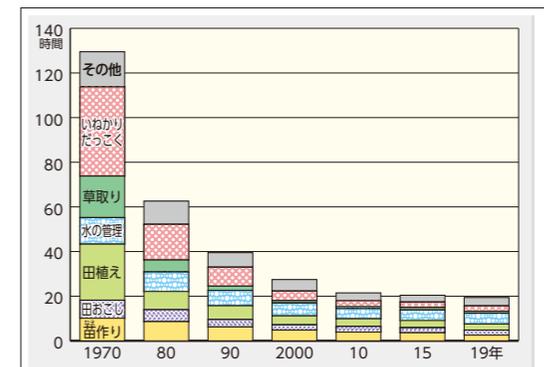


① 庄内平野の土地の使われ方

5年 P.82

カラーユニバーサルデザインに対応した図表

色調や色の組み合わせだけの区別ではなく、斜線やドットも使用するなど、細部まで配慮しています。



② 山形県の10戸あたりの年間耕作時間のうつつり変わり (東北農林水産統計年報ほか)

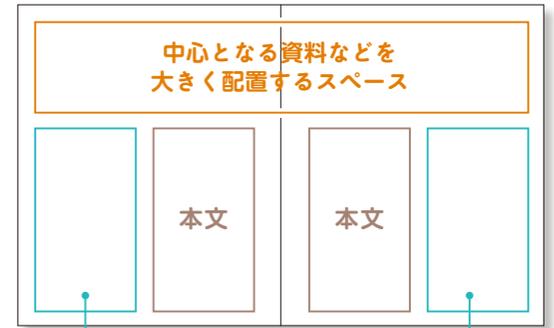
5年 P.86

たいせつな情報がわかりやすいね。



レイアウトのくふう

資料の読み取りや、本文と資料を関連させた読み取りがしやすいよう、紙面のレイアウトに配慮しています。中心資料も大きく配置しています。



補助的な資料や「学び方・調べ方コーナー」などを配置するスペース

3年 P.48-49

20 問題を追究・解決する力を身につけよう

6年 P.20

キーワード
社会科の学習にとってたいせつな用語をキーワードで示すとともに、本文中で対応する箇所の文字を、ゴシック体であらわしています。

たすうけつ 多数決

現代的な諸課題への取り組み

人権・福祉

人権尊重を基本理念として、多様性(ダイバーシティ)が尊重され包摂される公正な共生社会をめざす姿勢をたいせつにしています。

2 わたしたちの願いと政治のはたらき

子どもをもつ家庭には、どんななみや願いがあるのだろう。

キーワード
待機児童
子育て中の保護者が、保育園に入所を申しこんでも入れない子どものことです。

待機児童についての問題 まなさんたちは、①のグラフを見て、気づいたことを話しました。

①のグラフを見ると、保育園に入りたくても入れない待機児童が、全国にまだたくさんいることがわかるね。

②の資料を見ると、全国各地でたくさん待機児童がいるね。なぜだろう。

③の資料を見ると、全国各地でたくさん待機児童がいるね。なぜだろう。

わたしの弟も、保育園に入れなくて、小さいとき、おじいちゃんやおばあちゃんに世話をしてもらったよ。

④の資料を見ると、全国各地でたくさん待機児童がいるね。なぜだろう。

わたしの弟も、保育園に入れなくて、小さいとき、おじいちゃんやおばあちゃんに世話をしてもらったよ。

⑤の資料を見ると、全国各地でたくさん待機児童がいるね。なぜだろう。

わたしの弟も、保育園に入れなくて、小さいとき、おじいちゃんやおばあちゃんに世話をしてもらったよ。

⑥の資料を見ると、全国各地でたくさん待機児童がいるね。なぜだろう。

わたしの弟も、保育園に入れなくて、小さいとき、おじいちゃんやおばあちゃんに世話をしてもらったよ。

⑦の資料を見ると、全国各地でたくさん待機児童がいるね。なぜだろう。

わたしの弟も、保育園に入れなくて、小さいとき、おじいちゃんやおばあちゃんに世話をしてもらったよ。

⑧の資料を見ると、全国各地でたくさん待機児童がいるね。なぜだろう。

わたしの弟も、保育園に入れなくて、小さいとき、おじいちゃんやおばあちゃんに世話をしてもらったよ。

⑨の資料を見ると、全国各地でたくさん待機児童がいるね。なぜだろう。

わたしの弟も、保育園に入れなくて、小さいとき、おじいちゃんやおばあちゃんに世話をしてもらったよ。

⑩の資料を見ると、全国各地でたくさん待機児童がいるね。なぜだろう。

わたしの弟も、保育園に入れなくて、小さいとき、おじいちゃんやおばあちゃんに世話をしてもらったよ。

6年 P.36



① 倉敷市役所の外国人相談まど口 2020(令和2)年に開設されました。英語、中国語、ベトナム語を話す相談員がいます。そのほかの言語も、テレビ電話を通じて通訳することで相談することができます。

4年 P.198



④ 演説する山田孝野次郎
(1906~1931年) 1924年の第3回全国水平社大会後の、大阪での演説会のようすです。

6年 P.191

少子化・高齢化をめぐる各地域の取り組みや、部落差別解消のための運動を随所で取り扱い、人権を尊重する社会のあり方について考えられるようにしています。

市に住む外国人支援活動などを行い、多文化共生をめざすまちづくりについて身近に考えられるようにしています。

障がいのある人の姿やユニバーサルデザイン、バリアフリーに関する教材を取り上げ、社会の多様な問題に目を向けられるようにしています。



③ 手だけで運転できる自動車 足が不自由な人でも自動車を運転できるよう、手だけでブレーキやアクセルなどの操作ができる装置があります。ほかにも、車いすに乗ったまま自動車に乗りおろすことができるようデザインされたものもあり、だれもが自動車に乗りやすい工夫がされています。

5年 P.156

社会の変化に応じた諸課題に取り組むことができるよう、各学年で教材を充実させています。

SDGsとの関連においても、多くの現代的な諸課題に目を向けさせています。

詳しくは本冊
20~25ページへ

防災・安全

一人ひとりの安全を確保するための知識と能力が向上するよう、学習場面を設けています。

二人目の発表

火事から安全なくらしを築るためにわたしたちができること
火事をふせぐために日ごろから気をつけるべきことを調べて、身近な人知ってもらう。

ふだんの生活で気をつける点を、ほかの学年の人や家の人につたえたいと思います。

② リコさんのカード

火事のげんいんには、わたしたちが気をつければ、ふせげるものがありました。

しつもんへの答え

火事のげんいんの一つに、電気機器があったよ。こたつやアイロンを使い終わったら、スイッチをきちんと切るようによびかけたね。

← 火事を防ぐために自分自身が具体的にできることを考え、話し合うようすを示しています。

3年 P.111

それぞれの市(区)町村では、ハザードマップを作成し、住民に配って防災をよびかけています。また、東村山市では、災害時にどのような被害がおきているのかを、住民が写真をとり、発信できる防災アプリを開発しました。

ひろとさんたちは、情報の活用について話し合いました。

災害がおきる前に、どこにひなん所があるのかをたしかめておくといね。

正しい情報を、受け取ったり、発信したりしなければいけなね。

自然災害による被害を予想し、地図にしたもの。ひなん所の場所なども書かれています。

東村山市の防災アプリ

4年 P.91 各地域のハザードマップや防災アプリを紹介することで、防災のための情報活用について考える場面を設けています。

伝統・文化

我が国の郷土の伝統や文化を尊重する態度の育成を重視しています。

くんちにける思い れんさんたちは、長崎伝統芸能振興会の山下さんに電話をして、くんちにける思いを聞いてみました。

振興会の山下さんの話
くんちは7年に1回の参加だから、とても楽しみです。一度経験すると、次もまた出たいと思うぐらいの喜びがあります。ただ、今から50年ぐらい前から、お金の面や町から人がへったために、参加をとりやめる町が出てきました。しょうらい、あとをついでくれる人や、手伝ってくれる人がいるだろうかと心配しています。振興会では、くんちという伝統芸能を、わかい人たちに受けついでほしいと強く思っています。そのため、毎年話し合っていて、昔からのしきたりを伝えるなど、わかい人たちにくんちをもっと知ってもらうための活動をしています。

くんちに参加する人たちは、どのような思いがあるのだろう。

今福町による本編 今福町は、しばらく出演を見合わせていましたが、2009(平成21)年、57年ぶりに復活をはたし、それ以後は参加を続けています。

4年 P.128

伝統的な祭りの伝承に取り組む人の思いを紹介し、伝統を守り受け継ぐためにできることを考えられるようにしています。



⑦ 現在も演じられている能

日本を象徴する優れた伝統芸能について紹介し、今日に至るまで継承されてきたことの意味を考えられるようにしています。

6年 P.121

環境問題

自然環境や生活環境について関心を持ち、それらの問題を考えられるようにしています。



②プラスチックごみによる被害を受けた海の生き物

①海岸をおおう海のごみ

4年 P.32

←世界中で課題となっている**海洋プラスチックごみ**について、単元の導入で紹介し、自然環境への問題意識を高めるようにしています。

コラム 体にも環境にもやさしい米

無洗米は、とがずにそのまま食べるので、多くの家庭で喜ばれています。しかし、無洗米をつくる時は、その過程でリンをふくんだとぎ汁が出ます。リンは、下水処理場でも取りのぞくのがむずかしく、水質汚染につながります。そこで、とぎ汁を出さずに無洗米をつくる装置が開発されています。栄養分とうまみもそのまま残るので、環境だけでなく、健康にもよいと世界からも注目されています。



⑤リンを出さずに無洗米をつくる装置(和歌山市)

5年 P.129

→無洗米製造時の**水質汚染を防ぐための最先端の取り組み**を紹介し、生活における利便性と環境問題など、多面的に考えられるようなコラムを設けています。

情報・技術

Society5.0の実現に向け、多種多様な情報を集め、効果的に活用することができる知識・技能の育成につながる教材を充実させています。



③**ひろさき便利まっぷ** 赤い矢印は、車両が除雪した場所をしめします。

4年 P.116

↑→**技術革新**による社会問題の解決に目を向けさせています。



③人が乗る必要のないトラクター(上)と、ドローンによる薬の散布(下)

5年 P.130

学び方・調べ方コーナー

見る・調べる

オンラインでのインタビューのしかた

- 先生にお願いをして、デジタル機器の準備をしましょう。
- 調べたいことや質問したいことをまとめておく。
- 質問をするときは、カメラとマイクに向かってはっきりと話す。
- わからないことがあれば、まとめて質問をする。

5年 P.84

↑インターネットを活用した調べ方を示すことで、**情報活用能力**が着実に養えるようにしています。

平和・国際

我が国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに、他国の文化へ興味をもたせる教材を充実させています。



⑥書道体験のようす

4年 P.195

↑→地域で行われている留学生との文化交流から、東京2020オリンピック・パラリンピックや2025年日本国際博覧会まで、さまざまな形の国際交流を取り上げることで、国際理解・親善に関心をもてるようにしています。また、世界情勢についての最新図版を掲載しています。



5年 P.190



③東京2020パラリンピック大会でのボランティアの活動のようす(2021年、

6年 P.227



⑥ロシア軍の攻撃でこわれた建物の中を歩く人(2022年、ウクライナ)

6年 P.254

健康・消費者

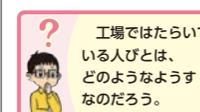
健康的な生活や、生産・消費活動について興味・関心を高めることができるよう、教材を充実させています。



②マスクやうがいと呼びかけるポスター(1920年) スペイン風邪が流行したころ、30000枚が印刷され、全国に配られました。

6年 P.192

←人類が繰り返し感染症を経験してきた歴史を紹介することで、**公衆衛生の発展**について捉え、近年の**新型コロナウイルス感染症と社会のあり方**についても考えられるようにしています。



工場ではたらいしている人びとは、どのようなようすなのだろう。

はたらく人のようす れんさんたちは、工場ではたらく人のようすについて、気になることを工場の人にたずねました。



なぜ、作業をしていた人たちは、白い服を着て、ぼうしやマスク、手ぶくろをしているのですか？



④強い風でほこりを落とす

白い服を着ているのは、よごれたらすぐわかるようにするためです。食べ物をつくる仕事なので、せいけつさをたもつよう気をつけています。けんざや、できあがったかまぼこをほうそうするとき手ぶくろをしているのも、同じ理由からです。ちよくせつせい品にさわらないようにしています。ほかに、毎日の体調をきびしくチェックし、手あらいい、しょうどくなど、えいせいにも気を配っています。



工場ではたらく山本さん

3年 P.52

↑工場などの生産の仕事において、商品の品質を担保するための取り組みがなされていることをおさえています。

他教科・他校種との連携

他教科や他校種との連携をはかり、カリキュラム・マネジメントにも役だつさまざまな紙面をもうけています。

他の教科と関連づけて学習を進められるね。



生活科との関連

初めての社会科学習について、これまでの生活科の学習から無理なく移行できるよう、本文に生活科の学習を想起できるくふうをしています。

学校のまわり一見学の計画を立てる～
 まなさんたちは、生活科の学習を思い出しながら、学校のまわりから調べることになりました。先生が、学校のまわりから写真と、学校のまわりの白地図を用意してくれました。

学校のまわり一見学の計画を立てる～
 ●見学の準備
 ●見学の準備
 ●見学の準備

学び方・調べ方コーナー
見る・調べる
姫路集めのしかた

- 生活科の学習や家族で行ったことのある場所を思い出そう。
- 姫路市に、しんせきなどの知り合いが住んでいたら、たずねよう。
- 学校からもらえるパンフレットや新聞で調べよう。
- 地図帳やインターネットの地図で、次のことを調べよう。

①場所 ②行き方
 ③その場所のようす
 ④近くに何があるか

3年 P.16-17

3年 P.11

道徳科との関連

道徳的諸価値と対応する教材を重点的に取り扱っています。



自分の命を守るために
 自分たちの命や暮らしを守るために、ひろさんたちは、①や②の資料から決めたことを話し合いました。

自然災害による被害を減らすためには、国や都道府県、市(区)町村の取り組み(活動)だけでなく、自分の命は自分で守ることが大切です。

3年 P.98

5年 P.252-253

↑店で働く人や消防署の人たちなど、働く人たちから直接話を聞く活動を取り入れています。働くことの意義や社会に奉仕することの喜びを子どもたちに体得させることを通して、法や決まりを守り、公共の精神の育成に資するようくふうしています。

↑自然災害を扱う単元では、地域の復興と、それに取り組む人々の活動を重点的に取り扱っています。郷土への愛情を育むとともに、子ども自身の公共の精神の育成を図ろうとしました。

国語科との関連

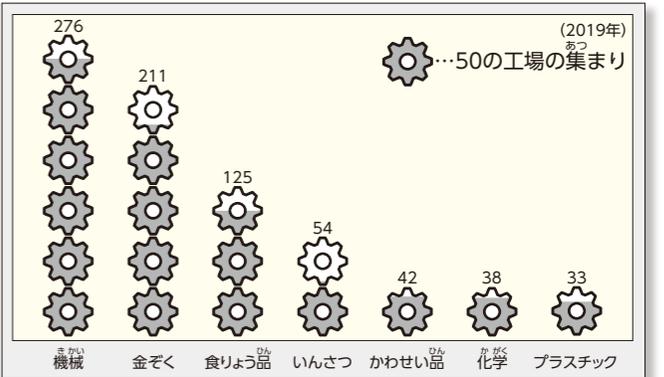
国語科で重視される「話すこと・聞くこと」「書くこと」に関する活動を積極的に取り入れ、成果物も例示しています。

カードにまとめる
 カードにまとめる
 カードにまとめる

4年 P.70-71

算数科との関連

学年の発達の段階に応じたグラフを掲載しました。



3年 P.33

↑棒グラフが未習でも読み取ることができるよう、3年の最初の単元では、絵グラフで示しています。

外国語(活動)との関連

	アメリカ	中国	ブラジル	韓国	日本	ほか(調べた国があればここに)
国旗						
おもな言語	英語	中国語	ポルトガル語	韓国語	日本語	
学校	9月に新学期、6月が卒業式	幼保から小学まで授業がある	午前授業と午後授業の2分割	7月教育が盛ん		
スポーツ						
食						
文化						
その他	かつては、戦争で戦ったが、今は平和で、経済、スポーツなど、様々な分野で活躍している。	古くから交流があり、今も親密な関係で関わりが深い。	100年以上前に日本人が移住し、日本人が活躍している。	韓流の文化が日本でも人気がある。	日本人が活躍している。	

6年 P.252

世界にある国々の生活やようすなどについて、興味をもって学習できる内容を設定しています。

小中連携

6年生の巻末で、中学校社会科は、地理、歴史、公民の各分野に分かれることを示し、中学生になる自分へのメッセージを書くことで、希望を高めるくふうをしています。

中学校へ向かって
 地理では…
 歴史では…
 公民では…

6年 P.278-279



3年生の特色

1・2年の生活科の学習から無理なくステップアップできるよう、必要な技能を確実に身につけられるコーナーや資料を充実させています。

① 社会科の基礎的な技能を確実に身につけられる

「学び方・調べ方コーナー」を多く設け、「社会科1年生」として身につけさせたい技能について、指導がしやすいようにしています。

学び方・調べ方コーナー 読み取る

土地りよう図の読み取り方

たしかめる

- 土地の高さの色分け
- 土地の使われ方の記号や色分け

見つける

- 土地の高さと使われ方
- 土地の高いところやひくいところは、どのように使われているか。
- おもな山のいちや川の流れ方
- おもな鉄道や道路のようす

考える

- 田や畑は、なぜそこに広がっているのか。
- 鉄道や道路は、なぜそこに集まっているのか。

学び方・調べ方コーナー 読み取る

地図のくらべ方

たしかめる

- 表題をたしかめる。
- 地図記号や、色分けの意味をたしかめる。

見つける

- 同じところを見つける。
- ふえているもの、へっているものを見つける。

考える

- 読み取ったことから、ぎもんを出したり、予想を立てたりしてみる。

資料の読み取りに必要な着目点を、三つのステップに分けて、わかりやすく示しています。

ひろとさんたちは、学習問題について考えたことを、整理したたんざくカードを見ながら話し合いました。

話し合いのしかた①

- 話し合いをはじめる前に、司会を決める。司会の人は、一人ずつじゆんに考えを発表してもらうようにする。
- 話す人は、聞いている人を見ながらゆっくり、はっきりと話す。
- 聞く人は、友だちの考えと自分の考えが同じか、ちがうかを考えながら聞く。
- 司会の人は、出た意見を整理しながら、話し合いを進める。

国語科との関連に留意し、司会を立てた話し合い活動の例とそのポイントを掲載しています。



4年生の特色

4年生になると、都道府県の学習が始まります。自分の住む都道府県や日本の47都道府県の学習を、紙面とQRコンテンツの両面からサポートしています。

① 日本の47都道府県の学習に親しみやすく

豊富な写真資料やアプリケーション「すごろく×カード」をご用意し、47都道府県の名称や位置について手軽に、そして楽しく学習できるようにしています。

れんさんが調べた 都道府県の特徴

4年 P.9-10

都道府県の特徴を表す写真を多数掲載した、ビジュアルなページです。

子どもの興味・関心を喚起するアプリケーション「すごろく×カード」です。授業の導入ですぐに使うことができ、授業準備もスムーズにできます。4・5・6年生の学習内容に合わせたテーマを取り揃えています。

4年～6年 「すごろく×カード」

② わくわく感を高める資料が充実！

子どもが自ら「調べてみたい！」と思えるような、大判イラストや多数の写真、動画コンテンツなど、全国的に活用しやすい資料を豊富に掲載しています。

3年 P.79-80

スーパーマーケットの店内のようすの大判イラストと写真で、子どもの意欲を高めます。見学前の予想や、見学後のふり返りに便利です。

消ぼう自動車には4人から5人の消ぼう隊員が乗りこみます。

3年 P.99 出動までの1分間

オリジナル動画もそろえています。見学活動の実施が困難な時にも活用いただけます。

② 自然災害単元の学習の充実

主単元の事例を、2019(令和元)年台風19号による風水害に更新。このほか、選択事例で地震・津波、学習資料で火山・雪害の内容を取り上げ、それぞれの災害への対処と備えを網羅しています。

自然災害から人々を守る活動

4年 P.80-81

写真を大きく掲載し、年表と地図で過去の災害を概観できるようにしています。

防災アプリなど、最新の事例も掲載しています。

4年 P.84

荒川下流河川事務所の早川さんの話

台風19号のときは、荒川上流からの水が増水していたので、隅田川の水がいて防をこえるおそれがありました。そこで、荒川と隅田川に水を分けて流す岩淵水門をとじました。こうすることにより、はんらんを防ぐことができました。

4年 P.84



5年生の特色

5年生は、日本全体の学習をします。自分の住む地域から距離が離れた事例が増え、内容が難しくなる分、事象を捉えやすいよう紙面をくふうしています。

① どの事例でもよくわかる！資料の充実

中学年と比べて、自分たちの住む地域から離れた事例が多くなり、見学に行くことが難しくなることも考えられます。見学へ行けなくても事例地のことをイメージできるよう、教科書紙面上の資料やQRコンテンツを充実させています。

動画コンテンツ

「あたたかい土地と寒い土地のようすがわかるよう、写真やグラフなどの資料を充実させ、さらに動画や外部リンクの二次元コードを掲載しています。」

5年 P.36-37 ↑あたたかい土地と寒い土地のようすがわかるよう、写真やグラフなどの資料を充実させ、さらに動画や外部リンクの二次元コードを掲載しています。

外部リンク (動画コンテンツ)

「あたたかい土地と寒い土地のようすがわかるよう、写真やグラフなどの資料を充実させ、さらに動画や外部リンクの二次元コードを掲載しています。」

5年 P.52-53

② バリエーション豊かな表現活動

タブレットなどを用いる、図にまとめるなど、さまざまな表現活動を提案しています。

③ まなさんのタブレット (見直し)

「これまで... 漁獲量が減ってきている... このままではだめだ！ 魚のとりすぎをふせごう！」

④ れんさんのタブレット (見直し)

「これまで... 作業時間が減る！... 生産拡大でき、収入が増える!!!」

5年 P.133 ↑タブレットなどで考えをまとめる

まなさんの発表

「わたしが食べている水産物は、沖合漁業、遠洋漁業、沿岸漁業、養殖などで行われています。わたしが住んでいるのは、養殖が盛んな地域です。このグラフのように、養殖の割合が増えています。養殖は、遠くまで運ぶ必要がなく、新鮮な魚が食べられます。また、環境にも優しいです。わたしが住んでいる地域では、養殖の割合を増やしたいです。」

↑ 出てきた資料を根拠として自分の考えを発表する

考えたことを関係図にまとめる

5年 P.105

5年 P.159

③ 現代的な諸課題に関する教材を豊富に掲載

自分たちの暮らしを見つめ直すような現代的な諸課題に関する教材を豊富に取り上げ、学習できるようにしています。日本の産業の学習単元では、これからの産業の明るい未来を感じられる事例を紹介しています。また、世界で起こっている事象にも目を向けられるように資料を精選しています。



③ ③ 人が乗る必要のないトラクター (上) と、ドローンによる葉の散布 (下)

5年 P.130

↑スマート農業やSociety5.0など、産業の最新のあり方を考えることができます。



③ ③ ドローンによる荷物の配送

これからの社会は、Society5.0とよばれることがあります。Society5.0では、人々はインターネットでさまざまな知識や情報を共有します。その大量の情報を人工知能(AI)が分けることで、あらたな価値が産業や社会にもたらされるのです。Society5.0のもとの工業では、工場間の連携を高めて生産効率を上げたり、職人の技術を受けつぎやすくしたり、運輸を効率的におこなったりすることが期待されます。

5年 P.189



④ ④ 自動ほんやくき(上)と、ふれずに操作できる券売機(下)

キーワード
Society 5.0
狩猟社会(1.0)、農耕社会(2.0)、工業社会(3.0)、情報社会(4.0)に続く、あらたな社会のこと。
先進技術を使って、経済発展と社会的課題の解決の両方を実現し、一人一人が快適でかつやくできる社会をめざしています。

考えよう！SDGs



世界の子どものおよそ10人に1人が、今も農園などで働いています。アフリカでは、チョコレートやココアの原料になるカカオのさいばいや収穫のために、学校に行けない子どももいます。外国から安く品物を輸入することで、相手の国がますます貧しくなる危険があります。



④ ④ 子どもが働いているようす (コートジボワール)

5年 P.181

↑SDGsに関わる問題や取り組みについて取り上げています。

④ 子どもの思考を深める紙面のくふう

学習する子どもの思考がより深まるように、キャラクターがアドバイスをしたり、話し合いのようすを示したりしています。

これからの日本の食料生産のあり方を考えよう

「わたしが食べている水産物は、沖合漁業、遠洋漁業、沿岸漁業、養殖などで行われています。わたしが住んでいるのは、養殖が盛んな地域です。このグラフのように、養殖の割合が増えています。養殖は、遠くまで運ぶ必要がなく、新鮮な魚が食べられます。また、環境にも優しいです。わたしが住んでいる地域では、養殖の割合を増やしたいです。」

↑ 出てきた資料を根拠として自分の考えを発表する

考えたことを関係図にまとめる

5年 P.132

←これからの食料生産の発展について、消費者と生産者という複数の立場から多角的に考えられるよう、促しています。

まなさんとれんさんの意見は、生産者の立場から考えているよね。わたしたち消費者の立場からも考えてみたらどうかかな。

やってみよう

身のまわりの工業製品を分類するときには、下の図のような思考ツールを使って分類すると、わかりやすいよ。ためてみよう。

5年 P.139

↑思考ツールを用いて考えを整理したり広げたりできるように提案しています。

やってみよう

下図のような思考ツールを使って、「もし、貿易ができなくなったら」をテーマに考えてみましょう。一つのことからつなげて考えを広げてみましょう。

5年 P.179



6年生の特色

6年生では、日本の政治、歴史、世界の国々について学習します。それぞれの単元に身近な教材を提示して、自分ごととして学べるよう構成しました。

① 日本国憲法と政治について、身近な教材を通して学習

日本国憲法と日本の政治について、子どもに寄り添う教材を通して学習します。

6年 P.10-11

↑障がい者たちの活動(福岡市のJOY倶楽部)を通して、日本国憲法と政治のしくみについて学習します。

6年 P.36-37

↑待機児童問題を通して、地方政治のしくみとはたらきについて学習します。

② 国際問題を真剣に考える子どもを育てる

日本を取り巻く世界の動きに目を向け、世界における日本のあり方、自分たちの果たすべき役割について考えます。

6年 P.232-233

↑大単元導入ページでは、SDGsの集大成として、この単元の学習に意欲をもたせるようになっています。

6年 P.260-261

↑世界がかかえるさまざまな問題を解決するために、わたしたちができることを考えられる構成となっています。

③ 過去・現在・未来をつなぐ魅力ある歴史学習

親しみやすい教材を取り入れ、高い関心をもって歴史を学んでいけるようくふうしました。また、日本の歴史を正面から見つめ、今を生きる自分にとって、命や人権がいかにたいせつなものであるかを考えさせようとしてしました。

歴史単元の導入と終末の充実

2 日本のあゆみ

1自分たちの住むまちのなか、歴史のサインを見つける

6年 P.62-63
↑大単元「2日本のあゆみ」の導入では、大きな図版を掲載し、歴史学習へのわくわく感を高めます。

日本の歴史の学習を終えて

きんは歴史のサインをいくつか見つけたかな

6年 P.228-229
↑歴史の導入だけでなく、大単元の終末に「日本の歴史の学習を終えて」を掲載しました。歴史を学ぶ意味をみんなで考えることができます。

戦争について具体的事例をくわしく紹介

小単元「11アジア・太平洋に広がる戦争」では、沖縄戦のページを増やし、戦争についてくわしく考えられるようにしています。

6年 P.208-209

歴史学者の磯田道史先生と学ぶ



磯田道史先生の手紙

6年 P.60-61
↑初めて日本の歴史を学習する子どもたちに、歴史学者の磯田道史先生から手紙が届きます。歴史が好きな子にも、苦手に思っている子にも、磯田先生が歴史学習のおもしろさを語りかけています。

江戸時代の自然災害

6年 P.162-163
↑磯田道史先生の歴史ノートでは、「江戸時代の自然災害」として、約300年前におきた富士山の大噴火から災害について考えます。



磯田道史先生のお話はこちら！

教科書で取り上げた主な地域事例地

近畿地方

自動車工業のさかんな地域(三重県鈴鹿市 5年P.144-159)
だれもが出かけやすいまちづくり(三重県津市 3年P.156-157)
環境とわたしたちの暮らし(三重県四日市市 5年P.266-275)
「彦根子ども議会」で政治体験～よりよい市をつくりだすために～
(滋賀県彦根市 6年P.58-59)
火事から人びとを守る(滋賀県栗東市 3年P.96-111)
情報を生かして発展する観光業(京都府京都市 5年P.224-229)
わたしたちの暮らしとガス(大阪府 4年P.76-77)
情報をつくり、伝える(大阪府大阪市 5年P.196-209)
2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)(大阪府大阪市 5年P.280-281)
大和川とわたしたちの暮らし(大阪府柏原市、堺市 5年P.276-279)
時間旅行に出かけよう(大阪府堺市 6年P.62-63)
これからの工業生産(大阪府東大阪市 5年P.182-187)
暮らしをささえる水(大阪府枚方市 4年P.54-71)
地震による災害(兵庫県神戸市 4年P.100-105)
水害にそなえて自分たちにできることを考えよう(兵庫県佐用町 4年P.118-119)
村を育てる教育につくす(兵庫県但馬地域 4年P.160-163)
わたしたちの住んでいる市のようす(兵庫県姫路市 3年P.8-41)
わたしたちの暮らしとまちではたらく人びと(兵庫県姫路市 3年P.44-91)
森林とわたしたちの暮らし(奈良県川上村 5年P.254-265)
市に昔からのこるたてものや自然を未来に受けつぐために
(奈良県奈良市 3年P.42-43)
エルトゥール号の遭難と救助活動(和歌山県 6年P.258-259)
津波による災害(和歌山県、広川町 4年P.106-111)
くだもの作りのさかんな和歌山県(和歌山県有田市 5年P.112-115)
自然を守る運動(和歌山県田辺市 4年P.156-159)

九州地方

医療に生かされる情報ネットワーク(福岡県久留米市 5年P.230-235)
九州国立博物館(福岡県太宰府市 6年P.104-105)
日本国憲法と政治のしくみ(福岡県福岡市 6年P.8-35)
バイオマス産業都市「エネルギーと資源が循環するまち」
～佐賀市の取り組み～(佐賀県佐賀市 5年P.66-67)
のりの養しょくがさかんな佐賀県(佐賀県佐賀市 5年P.100-103)
わたしたちのまちに伝わるもの(長崎県長崎市 4年P.122-133)
経験をむだにしないまちづくり(熊本県水俣市 6年P.52-57)
ごみのしよりと活用(大分県大分市 4年P.32-49)
高千穂郷・椎葉山の産業や自然を未来に残すために
(宮崎県高千穂郷・椎葉山地域 4年P.202-203)
火山による災害(宮崎県高原町 4年P.112-115)
畜産業のさかんな宮崎県(宮崎県都城市、えびの市 5年P.106-111)
あたたかい沖縄県に住む人々の暮らし(沖縄県 5年P.32-39)
地球上の「だれ一人取り残さない」ことの実現に向けて
～自分にできること～(沖縄県 6年P.272-273)

中国地方

わたしたちの県のようす
(岡山県 4年P.16-27)
土地の文化財を生かした地いき
(岡山県岡山市 4年P.188-191)
世界とつながる地いき
(岡山県倉敷市 4年P.192-201)
伝統的な工業がさかんな地いき
(岡山県備前市 4年P.172-179)
土地の特色を生かした地いき
(岡山県真庭市 4年P.180-187)
工業生産のこれからのSDGsの問題
～東広島市の取り組み～
(広島県東広島市 5年P.192-193)
自然災害からの復旧や復興の取り組み
(広島県広島市 6年P.46-51)

中部地方

石川県に昔から受けつがれてきた産業
(石川県 4年P.28-29)
低地に住む岐阜県海津市の人々の暮らし
(岐阜県海津市 5年P.40-47)
江戸時代の自然災害(静岡県 6年P.162)
Woven City(ウーブン・シティ)
(静岡県裾野市 5年P.190)
地図となかよしになろう
(愛知県小牧市 4年P.205)
わたしたちの暮らしを支える石油工業
(愛知県知多市 5年P.168-171)

四国地方

野菜作りのさかんな高知県(高知県安芸市 5年P.116-119)
次世代型ハウスでトマトを作る会社(高知県四万十町 5年P.126-127)

北海道地方

寒い土地の暮らし(北海道旭川市 5年P.50-57)
医りようにつくす(北海道せたな町 4年P.164-167)

東北地方

雪による災害(青森県弘前市 4年P.116-117)
感染症とたたかい、人々の命を守った上杉鷹山と後藤新平
(山形県 6年P.164)
米作りのさかんな地域(山形県鶴岡市 5年P.76-91)

関東地方

わたしたちの暮らしを支える食品工業
(茨城県小美玉市 5年P.160-163)
持続可能都市「スマートシティ」～宇都宮市の取り組み～
(栃木県宇都宮市 5年P.236-237)
原野に水を引く(栃木県那須塩原市 4年P.134-151)
日光の世界遺産を調べよう～伝統的な技術と保存活動～
(栃木県日光市 6年P.194-195)
高い土地の暮らし(群馬県嬬恋村 5年P.58-65)
安心して、暮らし続けられるまちづくりに向けて
(埼玉県川口市 6年P.230-231)
市のようすと暮らしのつながり(埼玉県川越市 3年P.128-155)
わたしたちの暮らしを支える製鉄業(千葉県君津市 5年P.164-167)
水産業のさかんな地域(千葉県銚子市 5年P.92-99)
わたしたちの暮らしと電気(東京都 4年P.72-75)
わたしたちの願いと政治のはたらき(東京都足立区 6年P.36-45)
食べられずにすてられてしまう食品をへらすために
(東京都板橋区 3年P.92-93)
下水のしよりと再利用(東京都大田区 4年P.50-53)
多摩川の水を守るために(東京都狛江市 4年P.78-79)
放送局のはたらき(東京都渋谷区 5年P.210-213)
自然災害から命を守る(東京都杉並区 4年P.82-99)
情報を生かして発展する産業(東京都豊島区、港区 5年P.214-223)
交通事故や事件から人びとを守る(東京都府中市 3年P.112-125)
伝統を受けつぎ、未来につなぐ(東京都府中市 4年P.168-169)
村の立て直しにつくす(神奈川県小田原市 4年P.152-155)
歴史と文化がおりなすまち 古都鎌倉(神奈川県鎌倉市 6年P.124-125)
まちをみんなで安全にしていこうために(神奈川県相模原市 3年P.126-127)
限りある食料資源をたいせつにするために～横浜市の取り組み～
(神奈川県横浜市 5年P.134-135)

デジタル教科書・教材のご案内

3種類のデジタル教科書や教材がございます。個別最適な学びの実現を目指し、授業や個別学習のサポートとなる機能・コンテンツを用意しています。多様な授業形態や機器の整備状況に応じてご利用ください。

デジタル教科書(教材)の主な機能

- 拡大、リフロー(画面に合わせた配置変換)
- 音声読み上げ ● 色の反転、配色設定
- 総ルビ表示 ● 書き込み、保存

① 指導者用デジタル教科書(教材)

令和6年度版『小学社会』に準拠した、指導者用デジタル教科書(教材)です。電子黒板などで掲示して使用でき、豊富な機能とコンテンツで、日々の授業を支援します。

指導者用デジタル教科書(教材)の主な特長

- ①表示・非表示を簡単切り替え。
グラフ・地図の読み取りに便利な「凡例別表示」
- ②教科書掲載のすべての写真や図版をクリック一つで「単独拡大」
- ③徹底的にこだわった動画資料やアニメーションを収録



ポイント① 豊富な動画コンテンツ

理解をより深めるための動画や、学習活動をイメージできる動画、有効な外部リンクの動画など、さまざまな種類のものを活用することができます。



映像資料



学習活動のようすの動画

ポイント② 1見開きの学習の流れがわかる

1見開き(原則1時間)での学習の流れをつかみやすいよう、1時間を3~4分節に区切り、1分節ごとに活用する資料と本文を表示することができます。



1分節の教科書資料

② 学習者用デジタル教科書、学習者用デジタル教材

令和6年度版『小学社会』に準拠した、学習者用デジタル教科書、教材です。一人一台端末で利用でき、デジタル教科書とデジタル教材を一体的に利用することで、より学習を深めることができます。

学習者用デジタル教科書、教材に共通の機能

ポイント① いつでも拡大、いつでも書き込み

利用頻度の高い「拡大」「ペンツール」「ページ送り」の基本機能をいつでも使いやすいように配置しています。何度でも書いたり消したりを繰り返すことができ、間違いを恐れず考えを深めることができます。



ポイント② 充実した学習支援機能

文字色や背景色の変更、行間・文字の大きさ変更(リフロー機能)、本文の音声読み上げ、総ルビ表示など、学習を進めやすくするための機能を実装しています。一人ひとりの特性に合った学習をサポートします。

ポイント③ 多様な利用環境に対応

Windows/Chrome/iPadの3種のOSに対応しています。また、各種マニュアルや動画での解説、実践事例の紹介など役立つ情報をデジタル教科書専用のウェブサイトにてご提供し、授業をサポートします。

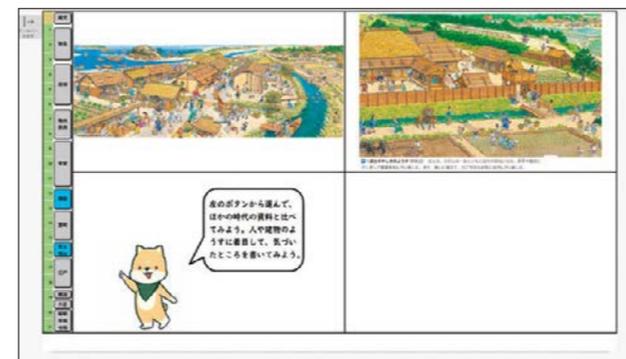


「デジタル教科書サポートサイト」

学習者用デジタル教材の特長

ポイント① 個別最適な学びをサポート

子どもが自分で学習を進めることができるよう、コンテンツを多数搭載しています。



コンテンツ例

ポイント② デジタルノート

タブレット上でノートをつくることができます。ドラッグするだけで教科書の図版を貼りつけられ、効率的に学習を進めることができます。



デジタルノート(イメージ)

教師用指導書のご案内

教師用指導書の構成

総論

『小学社会』編集の基本方針とともに、社会科で重要な能力育成や、新しい教育課題の指導について、具体例をまじえて解説。

研究編

教材研究に役立つ論考とともに、全学年分の年間指導計画例や当該学年の学習指導案例を詳しく掲載。(各学年1冊)

朱書編

教科書紙面の縮刷を中央に配置し、授業準備がスムーズにできる、授業で必ず使う精選した情報を掲載。(各学年1冊)

デジタルデータ集

評価テスト例やワークシート、イラストカット集、『小学社会』紙面PDFデータと、教科書掲載図版データを収録。(各学年1枚)

研究編

子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント

本時のねらいに即した観点を選び、授業に呼応した評価規準の具体例を示しています。

資料活用のポイント

中心資料から読み取らせたい事実と、そこから考えさせたいことを解説しています。

このページは、教科書「小学社会」の「火事から人びとを守る」単元に関する指導書のページです。左側には「本時のねらい」として、火事による被害の軽減や、火事の原因の調査などが示されています。右側には「子どもの学習状況を見取るためのチェックポイント」として、教科書のイラストや写真、地図などを活用して、火事の原因や被害の大きさ、火事からの避難方法などを学習させることが示されています。また、「資料活用のポイント」や「学習活動のアイデア」も紹介されています。

このページは、教科書「小学社会」の「火事から人びとを守る」単元に関する指導書のページです。左側には「資料活用のポイント」や「内容の解説」が示されています。右側には「学習活動のアイデア」が示されています。また、「二次元コードの活用」についても説明されています。

展開例

子どもの学習活動や発問・発言例を示し、子どもの意識の深まりに沿った学習展開を例示。また、指導するうえで留意すべき点や、C基準の子どもへの指導の手立てもあわせて例示しています。

学習活動のアイデア

子どもがつまづきやすいポイントをふまえた指導の手立てや参考となる学習活動について解説しています。

朱書編

子どもの活動と内容

子どもの意識の深まりに沿った学習展開や、指導するうえで留意すべき点を例示しています。

教科書紙面の縮刷

各分節の「子どもの活動」や、教科書本文や図版の解説や説明、図版の読み取りでおさえるべきポイントなどを示しています。

このページは、教科書「小学社会」の「火事から人びとを守る」単元に関する指導書のページです。左側には「子どもの活動と内容」が示されています。中央には「教科書紙面の縮刷」が示されています。右側には「二次元コードの活用」や「板書例」が示されています。また、「資料活用のポイント」や「学習活動のアイデア」も紹介されています。

二次元コードの活用

コードを読み取ると見られるワークシート、シミュレーション、動画などのQRコンテンツを、どのように活用すればよいか解説しています。

板書例

子どもの思考の整理につながるような、1単位の時間の流れがわかる板書例を示しています。

拡大教科書のご案内

日本文教出版では、すべての小学校・中学校教科書で、拡大教科書を発行しています。拡大教科書は、通常の教科書の文字を拡大するとともに、編集意図を損なわないように写真など、図版の配置も再レイアウトしたものです。

年間指導計画

■…選択単元 ●…学習資料

一学期制	二学期制	月	3年	配当時間	学習指導要領	
前期	一学期	4	1 わたしたちの住んでいるところ 大単元の導入	18 1	(1)	
			1 わたしたちの住んでいる市のようす	17		
		5				
		6	2 わたしたちのくらしと まちはたらく人びと 大単元の導入	20 1		(2)
		7	1 工場ではたらく人びとの仕事 ■畑ではたらく人びとの仕事	8		(2) ア(ア)(ウ) イ(ア)
		9	2 店ではたらく人びとの仕事	11		(2) ア(イ)(ウ) イ(イ)
	二学期	10	3 安全なくらしを守る 大単元の導入	17 1	(3)	
			1 火事から人びとを守る	9		
		11				
		12	2 交通事故や事件から人びとを守る	7		
		1	4 市のようすとくらしのうつりかわり 大単元の導入	15 1		(4)
		2	1 うつりかわる市とくらし	14		
3						

一学期制	二学期制	月	4年	配当時間	学習指導要領	
前期	一学期	4	日本の47都道府県を旅してみよう	2	(1)	
			1 わたしたちの県 大単元の導入	8 1		
			1 わたしたちの県のようす	7		
		5	2 健康なくらしを守る仕事 大単元の導入	26 1		(2)
		6	1 ごみのしよりと活用 ●下水のしよりと再利用	13		(2) ア(イ)(ウ) イ(イ)
		7	2 くらしをささえる水 ●わたしたちのくらしと電気 ●わたしたちのくらしとガス	12		(2) ア(ア)(ウ) イ(ア)
	二学期	9	3 自然災害から人々を守る活動 大単元の導入	12 1	(3)	
			1 自然災害から命を守る ■地震による災害 ■津波による災害 ●火山による災害 ●雪による災害	11		
		10	4 地いきの伝統や文化と、 先人のはたらき 大単元の導入	21 1		(4)
			1 わたしたちのまちに伝わるもの	8		(4) ア(ア)(ウ) イ(ア)
		11				
		12	2 原野に水を引く ●村の立て直しにつくす ●自然を守る運動 ●村を育てる教育につくす ●医りょうにつくす	12		(4) ア(イ)(ウ) イ(イ)
後期	一学期	1	5 わたしたちの住んでいる県 大単元の導入	21 1	(5)	
			1 伝統的な工業がさかんな地いき	6		
		2	2 土地の特色を生かした地いき ●土地の文化財を生かした地いき	6		
		3 世界とつながる地いき	8			
	二学期	2				
		3				

一学期制	二学期制	月	5年	配当時間	学習指導要領
前期	一学期	4	1 日本の国土と人々のくらし 大単元の導入	21 1	(1)
			1 世界から見た日本	5	(1)(ア)(ウ) イ(ア)
		5	2 日本の地形や気候 3 さまざまな土地のくらし [1]あたたかい沖縄県に住む人々のくらし ■寒い土地のくらし—北海道旭川市— [2]低地に住む岐阜県海津市の人々のくらし ■高い土地のくらし—群馬県嬬恋村—	5 10	(1) ア(イ)(ウ) イ(イ)
		6	2 わたしたちの食生活を支える食料生産 大単元の導入	25 1	(2)
			1 食生活を支える食料の産地	3	(2)ア(ア)(ウ) イ(ア)
			2 米作りのさかんな地域 3 水産業のさかんな地域 ■畜産業のさかんな宮崎県 ●くだもの作りのさかんな和歌山県 ●野菜作りのさかんな高知県	7 7	(2) ア(イ)(ウ) イ(ア)
	二学期	9	4 これからの食料生産	7	(2)ア(ア) イ(ア)
		10	3 工業生産とわたしたちのくらし 大単元の導入	22 1	(3)
			1 くらしや産業を支える工業生産 2 自動車工業のさかんな地域 ●わたしたちのくらしを支える食品工業 ●わたしたちのくらしを支える製鉄業 ●わたしたちのくらしを支える石油工業	3 8	(3)ア(ア)(エ) イ(ア) ア(イ)(エ) イ(イ)
		11	3 運輸と日本の貿易 4 これからの工業生産	5 5	(3)ア(ウ)(エ) イ(ウ) (3)ア(ア)(エ) イ(ア)
		12	4 情報社会に生きるわたしたち 大単元の導入	14 1	(4)
		1	1 情報をつくり、伝える ●放送局のはたらき 2 情報を生かして発展する産業 ■情報を生かして発展する観光業 ■医療に生かされる情報ネットワーク	7 6	(4)ア(ア)(ウ) イ(ア) ア(イ)(ウ) イ(イ)
後期	一学期	2	5 国土の環境を守る 大単元の導入	18 1	(5)
			1 自然災害から人々を守る	6	(5)ア(ア)(エ) イ(ア)
		3	2 森林とわたしたちのくらし 3 環境とわたしたちのくらし ●大和川とわたしたちのくらし	6 5	(5)ア(イ)(エ) イ(イ) (5)ア(ウ)(エ) イ(ウ)

一学期制	二学期制	月	6年	配当時間	学習指導要領
前期	一学期	4	1 わが国の政治のはたらき 大単元の導入	19 1	(1)
			1 日本国憲法と政治のしくみ	13	(1)ア(ア)(ウ) イ(ア)
		5	2 わたしたちの願いと政治のはたらき ■自然災害からの復旧や復興の取り組み ■経験をむだにしないまちづくり	5	(1)ア(イ)(ウ) イ(イ)
		6	2 日本のあゆみ 大単元の導入	73 1	(2)
			1 大昔のくらしとくにの統一 2 天皇を中心とした政治	8 6	(2)ア(ア)(シ) イ (2)ア(イ)(シ) イ
		7	3 貴族が生み出した新しい文化	3	(2)ア(ウ)(シ) イ
	二学期	9	4 武士による政治のはじまり	5	(2)ア(エ)(シ) イ
			5 今に伝わる室町の文化と人々のくらし	4	(2)ア(オ)(シ) イ
		10	6 戦国の世の統一	6	(2)ア(カ)(シ) イ
		11	7 武士による政治の安定	5	(2)ア(キ)(シ) イ
			8 江戸の社会と文化・学問	6	(2)ア(ク)(シ) イ
		12	9 明治の新しい国づくり	6	(2)ア(ケ)(シ) イ
後期	一学期	1	10 国力の充実をめざす日本と国際社会	7	(2)ア(コ)(シ) イ
			11 アジア・太平洋に広がる戦争	8	(2)ア(サ)(シ) イ
		2	12 新しい日本へのあゆみ 日本の歴史の学習を終えて	7 1	(2)イ(ア)
	二学期	2	3 世界のなかの日本とわたしたち 大単元の導入	13 1	(3)
			1 日本とつながりの深い国々	6	(3)ア(ア)(ウ) イ(ア)
		3	2 世界がかかえる問題と日本の役割	6	(3)ア(イ)(ウ) イ(イ)

観点別教材一覧①

人権の尊重、福祉（法・ルールふくむ）

3年

- 学校のまわり～見学～(P.18)
- 店でかりられる車いす(P.86)
- 身体しょうがい者用のちゅう車場(P.87)
- ひなんするときのやくそく(P.106)
- 消ぼうについて定めた国のきまり(P.107)
- 地いきで見かけるけいさつしょの人の仕事(P.116-117)
- 体が不自由な人や目が不自由な人のための信号ボタン(P.119)
- わたしたちにできること(P.124-125)
- 市役所の取り組み(P.152)
- 未来の川越市(P.154-155)
- だれもが出かけやすいまちづくり(P.156-157)

4年

- ごみステーションのようす(P.36-37)
- ごみをへらすために(P.48-49)
- 安心・安全な水をつかって送る(P.62-63)
- 自然災害から人々を守る活動(P.80-119)
- 地いきの発てんにつくした人々(P.134-167)
- 村を育てる教育につくす(P.160-163)
- 医りょうにつくす(P.164-167)
- 市役所のはたらき(P.198-199)

5年

- 手だけで運転できる自動車(P.156)
- フェアトレード、子どもが働いているようす(P.181)
- 働く人のことを考えて(P.186)
- 社会の変化に合わせた工業製品(P.188)
- 情報の伝え方とそのえいきょう(P.204-205)
- 情報社会の問題(P.208-209)
- 環境とわたしたちのくらし(P.266-275)
- 大和川とわたしたちのくらし(P.276-279)

6年

- 基本的人権と国民の権利・義務(P.14-15)
- 人権に関する問題への取り組み(P.16-17)
- さらに考えたい問題(P.32-33)
- 考えたことを広げ深めよう(P.34)
- 東京都足立区の住民の願いと区役所のはたらき(P.38)
- 待機児童の問題への取り組み(P.40)
- コラム 足立区子育てサロン(P.43)
- コラム 命をかけた国会演説(P.199)
- これからの日本とわたしたち(P.226-227)
- スポーツによる国際交流(P.254)

〈部落史〉

- 今に伝わる室町文化(P.120-121)
- 江戸時代の身分制と人々のくらし(P.142-143)
- コラム 渋染一揆(P.170)
- 新しい政府による政治(P.173)
- よりよく生きる権利を求めて(P.190-191)

〈女性と人権〉

- 男女平等について考える中学生向けの授業(P.15)
- コラム「尼將軍」北条政子のうったえ(P.111)
- コラム 君死にたもうことなかれ(P.185)
- タイピストとバスの車掌、津田梅子(P.189)
- よりよく生きる権利を求めて(P.190-191)
- 女性議員の誕生(P.216)

〈外国人の人権〉

- 江戸時代の海外との交流(P.147)
- これからの日本とわたしたち(P.226)
- 日本とつながりの深い国々(P.236-257)

〈高齢者や障がい者の福祉など〉

- わが国の政治のはたらき(P.8-9)
- 日本国憲法と政治のしくみ(P.10-11)
- 高齢者の健康づくりを支援する講座(P.15)
- 消費税の税率引き上げに関する問題(P.32,34)
- これからの日本とわたしたち(P.226)

〈アイヌ民族の人権〉

- 江戸時代の海外との交流(琉球王国含む)(P.146)
- コラム 新政府と北海道・沖縄(P.173)
- これからの日本とわたしたち(P.226-227)

平和・国際理解

3年

- 魚をすり身にする(P.50)
- 外国へ出荷される工場のせい品(P.57)
- 野菜やくだもの産地マップ(P.89)
- コラム せんそうがあったころの学校のようす(P.137)
- 市役所の取り組み(P.152)

4年

- 市内に住む外国人のためのごみの出し方の資料(P.37)
- 川の水をくむ子ども(P.66)
- 昔の建物を調べる(P.132-133)
- 備前焼を守る(P.176)
- 世界とつながる地いき(P.192-201)

5年

- 世界のさまざまな国々(P.14-15)
- 日本の位置とはんい(P.16-17)

- 領土をめぐる問題(P.18-19)
- コラム 沖縄県とアメリカ軍基地(P.39)
- コラム 世界の米どころはどこ？(P.77)
- ブランド牛「宮崎牛」と輸出の取り組み(P.111)
- 食料の輸入先を調べる(P.120-121)
- 日本の食料生産をめぐる問題(P.122-123)
- 国内の食料品のよさを知らせる(P.128-129)
- 自動車のゆくえ(P.154-155)
- 世界のおもな国の鉄鋼生産量と、日本の鉄鋼製品の輸出先の内わけ(P.166)
- 運輸と日本の貿易(P.172-181)
- 2025年日本国際博覧会(P.190-191,280-281)

6年

- 平和主義と人々の願い(P.26-27)
- 平和の実現をめざして(P.28-29)
- まなさんのカード(P.213)
- 新しい国づくりがはじまる(P.216-217)
- 日本の国際社会への復帰(P.218-219)
- 国際社会のなかの日本(P.222-223)
- 安心して、くらし続けられるまちづくりに向けて(P.230-231)
- 世界のなかの日本とわたしたち(P.232-271)
- コラム エルトゥールル号の遭難と救助活動(P.258-259)
- 地球上の「だれ一人取り残さない」ことの実現に向けて～自分にできること～(P.272-273)

防災・安全

3年

- 市役所やみんながりようするしせつがあるところ(P.24-25)
- ひろとさんが自分でまとめたメモ(P.91)
- 安全なくらしを守る(P.94-125)
- まちをみんなで安全にしていこうために(P.126-127)

4年

- 令和2年7月豪雨で集められた災害ごみ(P.39)
- 大阪北部地震のときに、水をもらう人たち(P.66)
- 水源を守るために(P.68)
- 自然災害から人々を守る活動(P.80-119)
- くらしのなかでの国際交流(P.196)

5年

- つゆと台風(P.24-25)
- 気候に合わせたくらし(P.34-35)
- 低地に住む岐阜県海津市の人々のくらし(P.40-47)
- 寒さや雪に対応したくらし(P.52-53)

- 浅間山北麓ジオパーク(P.65)
- 安全で人にやさしい自動車づくり(P.156-157)
- 安全と環境を守るために(P.170)
- アナウンサーの高瀬さんの話、
コラム きん急時の対応(P.213)
- 自然災害から人々を守る(P.240-253)
- 森林のはたらき(P.260-261)
- 子どもが防災について学べる取り組み(P.281)

6年

- 自然災害からの復旧や復興の取り組み(P.46-51)
- 江戸時代の災害(P.162-163)

伝統・文化

3年

- 姫路城(P.14,22)
- 学校の近くの神社(P.17)
- 古くからのこるたてもの(P.18)
- 古い町なみがのこるところ(P.26-27)
- 家島天神祭のようす(P.35)
- 市に昔からのこるたてものや自然を未来に受けつぐために(P.42-43)
- れんこん作りのさかんな大津区(P.68-69)
- 市のようすとくらしのうつりかわり(P.128-155)

4年

- 岡山県の特産物や産業(P.24-25)
- 岡山城と後楽園(P.27)
- 倉敷市的美観地区(P.27)
- 石川県に昔から受けつがれてきた産業(P.28-29)
- わたしたちのまちに伝わるもの(P.122-133)
- コラム 琵琶湖疏水(P.151)
- 伝統を受けつぎ、未来につなぐ(P.168-169)
- 伝統的な工業がさかんな地いき(P.172-179)
- 土地の文化財を生かした地いき(P.188-191)

5年

- 気候に合わせたくらし(P.34)
- 沖縄県のみりよくとは(P.38-39)
- 水害とむき合う人々(P.42-43)
- 輪中での農業(P.44)
- わたしたちの食生活と米(P.76)
- わたしたちの食生活と水産物(P.92)
- わたしたちのくらしを支える食料品工業(P.160-163)

6年

- 日本のあゆみ(P.62-63)

観点別教材一覧②

- コラム 神話などに書かれた国の成り立ちと人々の生活のようす (P.81)
- 貴族の暮らしから文化が生まれる (P.101)
- 今に続く年中行事 (P.102)
- 今に伝わる室町の文化と人々の暮らし (P.116-121)
- 町人文化の広がり (P.152-153)
- 日光の世界遺産を調べよう (P.194-195)
- 中国から伝わり今も日本に残るもの (P.242)
- 姉妹都市の交流活動で和太鼓を演奏する日本人 (P.253)
- 文化による国際交流 (P.256)

環境

3年

- 山にかこまれたところ (P.30-31)
- 石を切り出すようす (P.35)
- 春日山原始林 (P.43)
- よごれた水をきれいにするせつび (P.55)
- リサイクル (P.87)
- 食べられずにすてられてしまう食品をへらすために (P.92-93)
- 電気をむだに使わないエアコン (P.147)

4年

- コラム カブトガニを守る (P.27)
- 輪島塗の技術でつくられたSDGsバッジ (P.29)
- ごみのしよりと活用 (P.32-49)
- 下水のしよりと再利用 (P.50-53)
- 「じょう水発生土」 (P.61)
- 毎日水が使えること (P.66-67)
- 水源を守るために (P.68)
- これまでとこれからの電気 (P.74-75)
- 多摩川の水を守るために (P.78-79)
- 自然を守る運動 (P.156-159)
- 森林を生かす取り組み (P.184-185)
- 高千穂郷・椎葉山の産業や自然を未来に残すために (P.202-203)

5年

- 浅間山北麓ジオパーク (P.65)
- バイオマス産業都市「エネルギーと資源が循環するまち」～佐賀市の取り組み～ (P.66-67)
- おいしくて環境にやさしい米を作る (P.89)
- 有明海での養しよく (P.102-103)
- 養しよく業の問題 (P.104-105)
- みかんの廃棄量を減らす (P.115)
- 日本の食料生産をめぐる問題 (P.122)

- 魚をとりながら保つ取り組み (P.124-125)
- コラム 体にも環境にもやさしい米 (P.129)
- 限りある食料資源をたいせつにするために～横浜市の取り組み～ (P.134-135)
- 環境にやさしい自動車づくり (P.158)
- 環境にやさしい鉄 (P.166-167)
- 安全と環境を守るために (P.170-171)
- 社会の変化に合わせた工業製品 (P.188)
- 工業生産のこれからのSDGsの問題～東広島市の取り組み～ (P.192-193)
- 橋本さんが書いた記事 (P.201)
- 考えよう！SDGs 気象情報の活用 (P.222)
- 持続可能都市「スマートシティ」～宇都宮市の取り組み～ (P.236-237)
- 国土の環境を守る (P.238-239)
- 森林とわたしたちの暮らし (P.254-265)
- 環境とわたしたちの暮らし (P.266-275)
- 大和川とわたしたちの暮らし (P.276-279)

6年

- 経験をむだにしないまちづくり (P.52-57)
- 縄文時代の人々のちえをわたしたちの生活に生かす (P.105)
- コラム 足尾銅山鉱毒事件 (P.188)
- 世界がかかえるさまざまな問題 (P.260-261)
- 世界の環境保全に向けた取り組み (P.264-265)

情報

3年

- 119番のしくみ (P.100-101)
- 110番のしくみ (P.115)
- 市民つうほうアプリ「パッ！撮るん。」 (P.126-127)
- 情報収集・整理に関する学び方・調べ方コーナー (P.11、12、26、49、51、81、90、106、131、158)
- 情報発信に関する学び方・調べ方コーナー (P.20、40、41、59、73、91、110、125、148)
- 子どものノート (P.122)
- ワークシート (P.155)
- 子どもの表現物 (P.19、20、36、41、56、58-59、67、70、72-73、76、77、90、91、110-111、123、124、125、149-150)

4年

- 安全・安心な水をつくって送る (P.62-63)
- 情報を役だてる (P.90)
- 火山のふん火がおきたときの体制 (P.115)
- ひろさき便利まつぷ (P.116)
- オンラインによる陶友会の備前焼まつり (P.178)

- 情報収集・整理に関する学び方・調べ方コーナー (P.19、20、33、37、38、39、46、56、69、123、204)
- 情報発信に関する学び方・調べ方コーナー (P.26、45、48、64、65、95、151、159、187、201)
- 子どものノート (P.39、64、109)
- ワークシート (P.95)
- 子どもの表現物 (P.26、45、48-49、70-71、74、98-99、119、130、133、151、159、187、201)

5年

- まきあみ漁のようす (P.94-95)
- のりの胞子を育てるときの温度管理 (P.102)
- 温度センサーによる通知のしくみ (P.107)
- 新しい農業技術と6次産業化 (P.126-127)
- 全国に広がるスマート農業 (P.130-131)
- これからの社会でかつやくする工業製品 (P.189)
- 情報社会に生きるわたしたち (P.194-237)
- 自然災害から命を守る情報 (P.250-251)
- 情報収集・整理に関する学び方・調べ方コーナー (P.12-13、19、61、84、147、159、187、235)
- 情報発信に関する学び方・調べ方コーナー (P.29、132、274)
- 子どものノート (P.19、35、69、223、262)
- ふり返りシート・ワークシート (P.49、187)
- 子どもの表現物 (P.75、91、105、129、132-133、159、264-265、274-275)
- 思考ツール (P.139、179)

6年

- アメリカ合衆国の暮らし (P.236-237)
- 中華人民共和国とのつながり (P.240-241)
- 大韓民国の暮らし (P.250)
- 情報収集・整理に関する学び方・調べ方コーナー (P.25、39、70、87)
- 情報発信に関する学び方・調べ方コーナー (P.30、45、83、97、161)
- 子どものノート (P.44-45、71、82、115、136、160、177、227、239、243、257)
- ふり返りシート・ワークシート (P.161、229)
- 子どもの表現物 (P.30-31、83、97、103、137、143、195、209、212-213、247、251、270-271)

健康・消費者

3年

- 日曜朝市のようす (P.29)
- ゆずのしゅうかくをする人びと (P.31)

- わたしたちの暮らしとまちではたらく人びと (P.44-91)
- いたばしみんなの食べきりチャレンジ運動 (P.92-93)
- 鉄道が通ったところ～人びとの暮らし～ (P.138-139)
- 高速道路が通ったところ～人びとの暮らし～ (P.144-145)
- 今のくらしで使われている道具 (P.147)

4年

- 岡山県の交通の広がり (P.22-23)
- 石川県に昔から受けつがれてきた産業 (P.28-29)
- 健康なくらしを守る仕事 (P.30-79)
- 伝統的な工業がさかんな地いき (P.172-179)
- 土地の特色を生かした地いき (P.180-187)

5年

- あたたかい気候を生かした農業 (P.36-37)
- 琉球料理 (P.38)
- 輪中での農業 (P.44-45)
- 気候を生かした農業 (P.54-55)
- 高原でのキャベツ作り (P.61)
- 気候を生かした出荷 (P.62-63)
- わたしたちの食生活を支える食料生産 (P.68-135)
- 働く人たちのようす (P.150-151)
- わたしたちの暮らしを支える食料品工業 (P.160-163)
- 情報を生かして発展する産業 (P.214-223)
- 医療に生かされる情報ネットワーク (P.230-235)
- 国土の環境を守る (P.238-239)
- 環境とわたしたちの暮らし (P.266-275)
- 大和川とわたしたちの暮らし (P.276-279)

6年

- 鎌倉・室町時代を生きた人々のくふうや努力 (P.122)
- 発達した都市と産業 (P.158-159)
- コラム 農村と江戸の食事 (P.161)
- 感染症とたたかい、人々の命を守った上杉鷹山と後藤新平 (P.164-165)
- コラム 新しい食べ物 (P.177)
- コラム 世界でかつやくした日本人 (P.189)
- 歴史から感染症を考える (P.192-193)
- 戦争で大きく変わった人々の暮らし (P.204-205)
- 終戦直後の人々の暮らし (P.214-215)
- 産業の発展と人々の暮らしの変化 (P.220-221)
- 子どもたちのようす (P.238-239)
- 子どもたちのようす (P.243)
- ブラジル連邦共和国の暮らし (P.245)
- 子どもたちのようす (P.246)
- 大韓民国の暮らし (P.249)
- 子どもたちのようす (P.250-251)

教科書検討の観点から見た内容の特色①

※ ■は主な教科書の関連ページ
丸数字は学年、そのあとはページ数を示しています。(例：■③12-13 → 3年P.12-13)

教科書検討の観点	「小学社会」の特色	
1 教育基本法及び学校教育法との関連		
(1)教育基本法への適合	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第1条の教育の目的と、第2条第1項から第5項に示されている教育の目標の達成をめざした教科書となっている。 <ul style="list-style-type: none"> ①広い知識・教養と豊かな人間性 ②人間尊重の精神と自主自律、勤労の精神 ③公正公平と公共心 ④自然愛護・環境保全 ⑤伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度と国際理解、親善の心 	
(2)学校教育法への適合	<ul style="list-style-type: none"> ●学校教育法第30条第2項に示された「基礎的な知識及び技能の習得」、「課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、その他の能力の育成」、「主体的に学習に取り組む態度の育成」が重視されている。 	
2 学習指導要領との関連		
①教科書の目標について	(1)社会科の目標達成のため、児童の学びを支援し、社会的な見方・考え方を生かした問題解決的な学習に取り組むことができるよう、適切に示唆されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領の社会科の目標、学年目標・内容、内容の取扱いなどをふまえて、児童の発達の段階と興味・関心を考慮し、社会的事象を適切に教材化した単元構成になっている。 ●各学年の教科書の巻頭には、児童(たち)の多様な素朴な疑問から、学習問題をつかみ、追究することで考えを深め合い、解決していくという問題解決的な社会科の学習の進め方を、図を用いて、わかりやすく提示されているページと、教科書の使い方のページが設けられている。これらのページを活用することで、「児童一人ひとりが調べ、ともに考え深め合い、表現しながら問題を解決する社会科学習」としての教科書の構成と使い方をつかむことができるように配慮されている。(■全学年2-3) ●社会的な見方・考え方の三つの視点(空間、時間、相互関係)と方法をより具体的に示す「見方・考え方コーナー」を設け、児童の発言から出た社会的な見方・考え方を評価する場合と、社会的な見方・考え方を示唆する2通りの示し方がされている。(■③30, 37, 75, 136) ●原則、左ページ脚注に、問題解決的な学習の過程と対応した「脚注インデックス」が設定され、主にどのような力をつけるページかがわかるように示されている。
	(2)国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の育成へのくふうがされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書本文が、児童に学習内容や学習活動がわかりやすいよう、「学習内容(知識の内容)」、「学習活動(技能を伴う活動)」、「友だちの発言(思考力、判断力、表現力等を活用した話し合い)」の三つに分けて表記されており、学習指導要領が要請する資質・能力(三つの柱)の育成のために有効であると考えられる。 ●人権・福祉、伝統や文化、平和や国際理解、環境、ICTなどの現代的な諸課題についても、各学年において、SDGsと関連させながら、児童の発達の段階に応じて取り上げられている。また、平和で民主的な国家及び社会の主体的に生きる形成者としての資質や能力の基礎の育成が、次のように図られている。 <ul style="list-style-type: none"> (1)地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化についての単元が、児童の発達の段階及び学習指導要領の目標と内容に即し位置づけられている。そのうえで、資料や調査活動を通して情報を適切に調べ、まとめる技能を身につけられるよう、資料などの紙面配置をくふうするとともに、「学び方・調べ方コーナー」が設定されている。 (2)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、解決に向けて社会への関わり方を選択・判断して表現したりする力を養えるよう、単元の随所に「見方・考え方コーナー」、「キーワード」、「むずかしい言葉」、「コラム」、「やってみようコーナー」が設定されている。また、単元の終末などでは、対話的な学びを示唆する児童との話し合い(深め合い)やふり返りの学習が充実している。 (3)地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことへのたいせつさについての自覚などを養えるよう、各学年の目標に即し単元が設けられている。
②内容構成について	(1)学習指導要領の内容の改訂に対応しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●中央教育審議会答申で示された具体的な改善事項をふまえ、内容の見直し・改善を図り、各学年について新教材・新単元が開発されている。 ●政治の働きへの関心を高め、内容の充実を図るため、政治に関する単元が6年の最初の単元に配置されている。(■③8-59) ●地図帳の活用については、3年から使用を促すよう配慮されている。(■③12, 158-159)

教科書検討の観点	「小学社会」の特色	
(2)学年の発達の段階、児童の興味・関心などを考慮し、各学年の内容に対応しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●全学年を通じて、児童の立場からの発言や話し合い、児童のもっている力を最大限に発揮した調べ活動や表現活動、学習内容の整理の仕方、多角的な思考や選択・判断の内容などが示唆されている。その際、作業的・体験的な活動が、児童の発達の段階をふまえて位置づけられている。 第3学年 … 市を中心とする地域学習 <ul style="list-style-type: none"> ●3年では、市を中心とした地域社会に対する誇りと愛情、地域の一員としての自覚を養うよう構成されている。第1大単元の市の学習では、生活科との接続に配慮するとともに市に重点を置き、地図帳の活用が図られている。第3大単元の安全を守る人々の学習においては、単元の終末で選択・判断する力の育成が示唆されている。第4大単元の市の移り変わりの学習では、多文化共生の取り組みや少子高齢化などによる地域社会の変化が取り上げられている。 第4学年 … 都道府県を中心とする地域学習 <ul style="list-style-type: none"> ●4年では、都道府県を中心とした地域社会に対する誇りと愛情、地域の一員としての自覚を養うように構成されている。第1大単元では、都道府県のようなすを学ぶとともに地図帳の活用が図られている。第3大単元の自然災害の学習においては、自然災害時における地方公共団体の働きや地域の人々のくふう・努力などについて示唆されている。また、この第3大単元や、健康なくらしについて学ぶ第2大単元などでは、選択・判断する力を養うことができるよう配慮されている。 第5学年 … 我が国の国土と産業 <ul style="list-style-type: none"> ●5年では、国土の学習を学年の最初に位置づけることで、中学年の地域学習をふまえ、自然と産業との結びつきを捉えやすい。また、国土の環境については、第5大単元として学年末に設定され、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを捉えやすい。食料単元と工業単元では、最初に産業の概要を学習し、その後で具体的事例を学ぶ構成にすることで、単元のねらいによりせまることができるようにしている。情報化の伸展に伴う生活や産業の変化については、第4大単元で取り上げられ、正しい情報を入手し、発信することの重要性を認識させる内容が取り入れられている。なお、選択・判断する力の育成を第5大単元で、多角的に考える単元として第2・3・4大単元が設定されている。 第6学年 … 我が国の政治と歴史、国際理解 <ul style="list-style-type: none"> ●6年では、主権者としての意識と政治の働きへの関心を高めるために、政治単元が第1大単元とされている。これまでの中学年の地域学習をふまえ、身近な事例と結びつけ、興味・関心をもって追究していく内容になっている。歴史単元では、児童の興味・関心を重視し、取り上げる人物や文化遺産、歴史事象を精選して、歴史的なものの見方・考え方を身につけていくように配慮されている。世界の単元では、一人ひとりが国際社会の一員であるという立場に立って、ここでも身近な事例を通して具体的に追究していく内容にして、選択・判断する力の育成が示唆されている。また、小中連携をめざし、巻末に「中学校へ向かって」という、中学校社会科の学習を見通すことができるページが設定されている。 	
3 構成・配列		
①指導計画の作成と内容の取扱いとの関連	(1)児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●全学年にわたって、児童一人ひとりが主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、学習問題を追究・解決する活動の充実が図られている。 ①「主体的な学び」を示唆するものとして導入がくふうされ、疑問を話し合い、学習問題をつくり、解決への見通しをもつことができる問題解決的な学習を推進している。(■③74-77) ②「対話的な学び」での「話し合い・交流」活動の充実と、「深い学び」での「多角的な思考と選択・判断する力」の育成を図るため、深め合いの内容を詳しく示し、児童の考えが深まっていくようすがイラストなどで示され、児童一人ひとりのふり返りのページが充実している。特に、選択・判断、もしくは多面的・多角的に考えることが求められている単元の「学習問題」や「さらに考えたい問題」の意見の交流場面では、協働的な学びが実現できる「深め合い」活動が設定されている。(■④70-71) ③国語科で培った言語に関する能力をもとにした授業展開を基本として全体が構成されており、国語科との関連がよく図られている。また、「見方・考え方コーナー」、「学び方・調べ方コーナー」、「キーワード」などが設定され、観察・見学、表現活動、問題解決的な学習などの質を高める手立てとなっている。(■③40, 49) ④単元のまとまりのなかで、学習を見通し、ふり返る場面をどこに設定するか、グループなどで対話する場面をどこに設定するか、児童が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるかなどについて考慮され、教材化が図られている。(■全体) ⑤「深い学び」を実現するためには「見方・考え方」を動かせることが重要になることから、社会的な見方・考え方の三つの視点と方法を、より具体的に示す「見方・考え方コーナー」が設けられている。比較・分類・総合などの具体的な思考方法や調査方法については、「学び方・調べ方コーナー」でも示唆され、事象の特色や意味などを深く調べ、考えることができる。(■③30, 75, 81 ⑤81)

教科書検討の観点から見た内容の特色②

教科書検討の観点	「小学社会」の特色
(2)各学年の目標や内容をふまえて、事例の取り上げ方をくふうしているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領の内容をもれなく扱うとともに、各学年の目標を達成できるよう、適切な事例や事象が取り上げられている。また、学習指導要領において、地域の実態に合わせて選択して取り上げることが求められている単元は、学習指導要領に例示されている事例が選択単元や学習資料としてほぼ網羅され、掲載されている。(■全体) ●3年「安全なくらしを守る」の火災と事故の事例では、どちらに重点を置いても学習ができるように配慮されている。(■③94-125)
(3)我が国の都道府県、世界の大陸と主な海洋の名称と位置について、身につけ活用できるよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●47都道府県の名称と位置については、全学年で取り上げられている。特に4年「日本の47都道府県を旅してみよう」では、都道府県の名称と位置を詳しく学習できるページが設定されている。(■④8-13) ●4年「日本の47都道府県を旅してみよう」には、47都道府県について楽しく学べる「すごろく」のアプリケーションを教科書QRコンテンツとして設定しており、日本をすごろくめぐりながら、都道府県の位置や名称、特色に親しむことができる。本コンテンツは、5年、6年でも活用することができる。 ●世界の大陸と主な海洋の名称と位置については、主に5、6年で取り上げられている。特に5年では、詳しく学習できるよう、ページが設定されている。(■⑤10-11)
(4)障がいのある児童などへの配慮について、くふうされているか。	<p>カラーユニバーサルデザインへの配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ●すべての児童が等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点に配慮されている。 ●一人ひとりの色覚の違いを問わず、多くの児童に見やすいよう、グラフ・地図については、色調や色の組み合わせの区別だけではなく、斜線やドットなども使用するなど、細部まで配慮されている。グラフは、要素ごとに黒色の境界線が施され、確実に数値を読み取ることができる。(■⑤82、86) <p>読み取りやすさに配慮した教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> ●紙面の本文が「学習内容(知識)」、「学習活動(技能)」、「友だちの発言(思考力・判断力・表現力等)」の三つに分けられ、学習内容や学習方法がわかりやすく構成されている。(■全体) ●スムーズに読み進められるよう、「わたし(たち)の問題」などについては、読みやすいまとまりで改行されている。(■全体) ●通常の教科書の文字を拡大するとともに、内容を把握しやすいように、写真等、図版を配置し直した拡大教科書が用意されている。 <p>学習のポイントや進め方がわかる教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会科の学習にとって重要な用語は「キーワード」で示され、本文中で対応する箇所の文字はゴシック体で示されている。(■⑥266) <p>社会科の学びの過程における困難さについての教科書のくふう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地図などの資料については、掲載する情報が精選され、視点が明確になっている。 ●社会的事象への興味・関心がもちにくい場合でも、社会の営みと身近な生活が繋がっていることが実感できるよう、具体的な活動場面の写真や作業が示唆されている。 ●学習問題への気づきが難しい場合でも、社会的事象を読み取りやすいよう、写真などの資料がくふうされている。また、児童の多様な疑問や予想を話し合う交流がくふうされている。 ●情報収集や考察・まとめに対する指導のくふうと手立てとして、情報収集の仕方が「学び方・調べ方コーナー」で詳細に示されている。考察・まとめでは、「学び方・調べ方コーナー」で方法が示され、見本になるノートなどの表現物が多く示唆されている。
(5)特別の教科 道徳など他教科や地域などとの関連を考慮しながら、社会科の特色に応じて、カリキュラム・マネジメントへの適切な配慮がされているか。	<p>特別の教科 道徳との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別の教科 道徳との関連については、社会科の教科の特質に応じて道徳性を養うことができるよう配慮されている。 ●3年では、地域での見学や聞き取りにあたり、あいさつや電話の仕方、交通ルールを守ることなどが、礼儀や規則の尊重などと関連して「見学の計画」や「学び方・調べ方コーナー」で具体的に示されている。(■③17、26)

① 指導計画の作成と内容の取扱いとの関連

教科書検討の観点	「小学社会」の特色
(6)中学校との連携への配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●3年の第2、3大単元の地域の産業や安全、4年第4大単元の祭りや地域の先人の働きの学習では、学習を通して勤労や地域や社会に対する誇り、郷土愛を涵養することができる。また、5年第1大単元の国土の学習や6年第2大単元の歴史の学習において取り上げられている事例によって、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する心情を涵養することができる。 ●4年や6年での、国際交流や世界の国々の学習において示された事例は、国際理解や多文化共生の基礎を養うことに適している。(■④192-199 ⑥234-257) ●6年の政治や現代史の内容では、公民的資質の基礎を養うことに適しており、主として集団や社会との関わりに関する内容と深く関連づけて指導することができる。(■⑥36-57、214-227) <p>生活科との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会科のスタートである3年の学習では、生活科で培われた直接的な体験や活動を通じた「知的な気づき」(社会的認識の芽)をもとに、自分たちの住んでいる身近な地域や市について、空間(地理)的・時間(歴史)的認識を広げ、深めていくくふうが示唆されている。(■③11、16) <p>国語科の言語活動との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会科での見学や観察、調べたことを書く、話し合うなど、国語科の内容「話すこと・聞くこと」と「書くこと」に示された発達の段階をふまえ、表現活動が例示されている。(■③40 ④65 ⑤105) <p>外国語活動・外国語科との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ●外国や我が国の文化について社会科で理解を深めたことを、地域や児童の実態に合わせ、外国語活動や外国語の教材にし、双方の学習が相互に効果を高めることができる。(■④192-199 ⑥234-257) <p>総合的な学習の時間との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領に示す内容を身につけている児童に対して、総合的な学習への関連づけとなるような、さらに深め、高めた学習内容が多数あり、児童の興味・関心に基づき、総合的な学習の時間に発展させることができる。(未来につなげる～わたしたちのSDGs～ ■③42-43) <p>社会科におけるカリキュラム・マネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各学年1巻構成が採用され、1年間の学習の見通しをもたせる学習や振り返り活動など、カリキュラム・マネジメントを意識した学習がおこないやすい構成になっている。(■全体)
(7)ICTを活用して学習を効果的に進められるようにくふうされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●社会科におけるICTの効果的な活用を促進し、情報活用能力を確実に育成できるようにくふうされている。(■⑤132-133) <p>教科書QRコンテンツ(別冊「教科書QRコンテンツ」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルならではの個別最適な学びを取り入れることができるように教科書QRコンテンツが多数設定されている。 ・教科書QRコンテンツには、動画や教科書には掲載していない写真資料、ワークシート、関連しているウェブサイトへのリンクなどがあり、二次元コードから直接アクセスすることができる。 ・単元導入ページ、「学習の計画」、「見学の計画」、「見方・考え方コーナー」、「考えよう!SDGsコーナー」、小単元末ページには、ワークシートのコンテンツを用意し、主体的・対話的で深い学びができるようにサポートしている。 ・47都道府県について楽しく学べる「すごろく」のアプリケーションのコンテンツが用意されており、4年では都道府県の位置や名称、特色に親しむことができる。また、5年、6年では学習した内容と関連させながら47都道府県について学ぶことができる。 <p>デジタル教科書・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に完全に準拠した学習者用デジタル教科書(教材)／指導者用デジタル教科書(教材)が用意され、動画、アニメーションなど、教師が電子黒板やテレビなどに提示できるコンテンツや、児童がタブレットなどで自由に操作できるコンテンツなどが取り入れられ、教科書とともに活用ができ、社会科学習の活性化に貢献できるように作成されている。

① 指導計画の作成と内容の取扱いとの関連

教科書検討の観点から見た内容の特色③

教科書検討の観点	「小学社会」の特色
① 指導計画の作成と内容の取扱いとの関連	(8) 家庭学習への配慮はなされているか。 ●巻頭では、「社会科の学習の進め方」や「この教科書の使い方」などが設けられ、学年を通して社会科の学習をどのように進めていけばよいのかを、いつでも確認することができる。さらに、本教科書の効果的な使い方がわかるようになっており、 学校、家庭、地域の連携 が示唆されている。(■全学年2-5) ●大単元末にある特設ページ「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」や、3年、4年、6年の巻末にある地図帳の使い方(■③158-159)、地図となかよしになろう(■④204-205)、歴史年表(■⑥※1～※6)などは、家庭での学習に活用することができるよう配慮されている。 ●随所に教科書QRコンテンツが設定されており、家庭学習においてもICTを活用した 個別最適な学び を効果的に進められるように配慮されている。(別冊「教科書QRコンテンツ」)
	(9) 学習で身につけられた内容について、どのように評価するのが示唆されているか。 ●小単元末などで例示されたノートやワークシート、ふり返りの話し合い、学習をまとめた作品などは、評価する際の参考となるよう配慮されている。(■⑤48 ⑥136) ●小単元末以外でも、ノートや学習カード例の示唆が配置され、評価の視点づくりの参考となるなど、 指導と評価の一体化 が図られるよう配慮されている。(■③19 ④64)
② 内容の取扱いについての配慮事項	(1) 地域の実態を生かし、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるよう、表現・言語活動に関わる学習を充実・重視するよう配慮されているか。 ●児童にとって特に身近に感じられる、 地域の特色を生かした地域教材の活用、開発 に配慮されている。 ●地域の素材を教材化しようとする際、教科書に示された、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるような教材化の手法や、観察や見学、聞き取りなどの調査活動を含む具体的な体験を伴う学習、また、それに基づく話し合い活動や表現活動の一層の充実などを大いに参考にすることができる。 ●言語に関する能力を育成するため、国語科で培った言語に関する能力を基本に、観察や調査・見学などの体験的な学習や、話し合いの場面を充実させている。 ●社会的事象の特色や意味、社会に見られる課題などについて、多角的に考えたことや選択・判断したこととの交流やまとめ、ふり返りの表現活動が多様化されている。
	(2) すべての学年において、地図帳を活用するよう配慮されているか。 ●3年、4年の巻末に「地図帳の使い方」、「地図となかよしになろう」が設定され、 地図帳の活用 を促している。(■③158-159 ④204-205) ●5年「1世界から見た日本」では、 地球儀や地図帳の具体的な活用方法 を示し、興味・関心をもって調べられるように配慮されている。(■⑤12-13) ●6年「3世界のなかの日本とわたしたち」では、日本とつながりが深い国々から調べる国を選ぶポイントの一つとして 地図帳の活用 を促している。また、選んだ国について地図帳を使って調べているようすを例示している。(■⑥235)
	(3) 学校図書館や図書館、コンピューターなどを活用し、情報の収集やまとめなどをおこなうよう配慮されているか。 ●学習問題を追究・解決するための見通しを立てる「学習の計画」において、調べ学習を行う方法の一つとして学校図書館や図書館の本で調べるように促している。(■③61 ④17) ●コンピューターなどの活用については、 教科書QRコンテンツ が設定され、各学年の各単元で電子黒板などの大型提示機器や個人端末(タブレットなど)を活用しながら、学習が効果的に進められるように多数のコンテンツが用意されている。(■全体)
	(4) 博物館や資料館などの施設を活用するなど、内容に関わる専門家や関係者、関係諸機関と連携を図ることができるよう、配慮されているか。 ●3年「4市のようにとくらしのうつりかわり」で市立博物館の見学・体験を、また、4年「4地いきの伝統や文化と、先人ののはたらき」での歴史文化博物館の見学や学芸員からの聞き取りなどの活動例を示し、多くの単元で、内容に関わる専門家に話を聞いたり案内をしてもらったりする活動が示唆されている。(■③130-132 ④139, 153, 157, 161) ●6年「2日本のあゆみ」の導入ページにおいて、身近な地域にある博物館を探検し、調べる学習を通して博物館見学のポイント等、歴史学習の基本を学べるようにしている。また、特設ページ「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」では、博物館の学芸員からの聞き取りの活動例が示されている。(■⑥62-65, 104)
	(5) 児童の考えが深まるようさまざまな見解を提示するよう配慮し、児童が多角的に考えたり、事実を客観的に捉え、公正に判断したりすることを妨げることのないよう配慮されているか。 ●全学年を通して、 社会的な見方・考え方を働かせながら学習問題を追究・解決する活動 を通し、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断できるよう配慮されている。 →3年「3安全な暮らしを守る」、4年「2健康な暮らしを守る仕事」、5年「5国土の環境を守る」、6年「3世界のなかの日本とわたしたち」など ●全学年を通して、社会への関わり方を 多角的 に考えることができるよう配慮されている。 →3年「4市のようにとくらしのうつりかわり」、5年「4情報社会に生きるわたしたち」、6年「1わが国の政治のはたらき」など ●未確定な事柄について、歴史的問題や国際問題などにおいて、事実を客観的に捉え、公正に判断することを妨げることなく、児童の発達の段階を考慮し、公平性に配慮されている。(■⑤18 ⑥224-225)

教科書検討の観点	「小学社会」の特色
③ 教材の選択、組織・配列、分量	(1) 教材の選択 各学年の社会的事象・事例などの選択に対する配慮はどのようにされているか。 ● 公正性・正確性 については、教材の選定、記述にあたって、内容が一方的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを十分に吟味・検証した教材が掲載されている。また、主として児童の発言の形式によって、一つの事象をさまざまな視点から考えようとする学習が例示されており、公正性や正確性について適切な配慮が行き届いている。(■全学年) ●学習指導要領の各学年の「内容の取扱い」において示された、「…の中から選択」、「事例地を選択」、「…の中から一つを取り上げる」を受け、各学年とも適切に事象や事例が選択されるとともに、主教材のほかに 選択教材 が設けられ、各地域や学校の実態に対応することができる。(■③60-73 ④100-105 ⑤50-57 ⑥46-51)
	(2) 組織・配列 児童の発達の段階を考慮し、学習が効率よく進められるように配慮されているか。 ● 児童の思考の流れを重視した組織・配列 になっている。児童が自ら見つけ出した問題を解決するために、調べ学習などの具体的な学習活動を通して理解を深め、追究し、気づくとともに、調べたことや考えたことを表現していく問題解決的な学習の過程がわかりやすく配列されている。 ●各小単元の原則毎見開きの最初に「わたし(たち)の問題」が設定されている。また、小単元には、学習問題が設定され、学習の区切りの最後に学習問題について考えたことを交流する場面とともに「さらに考えたい問題」が設定されることで、児童の思考の流れを考慮した、組織・配列となっている。 ●二学期制を導入している学校に対する配慮として、各学年の単元構成は、前期と後期にも配分しやすく配列されている。
	(3) 分量 内容の精選と焦点化が図られ、分量は適切か。 ●児童の主体的・対話的な学習活動が展開できるように内容の重点化が図られ、小単元ごとに十分な調べ学習や話し合い活動などができるよう、適切な時数が配当されている。 ●学習内容についての情報や資料、追究過程が原則見開きページにまとめられ、コンパクトに配分されている。
④ SDGsと関連のある現代的な諸課題への対応	(1) 社会の持続可能な発展に関する内容 ●環境、貧困、人権、平和、開発など、 社会の持続可能な発展に関わる問題 について、SDGsと関連させながら児童の発達の段階に応じて取り上げられている。(■③55 ④167 ⑤181 ⑥27) ●SDGsを自分ごととして考え、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向け、自ら考え、行動ができる児童を育む教育(ESD)を推進しやすいようくふうされている。 ●SDGsに関連した内容を「 考えよう！SDGsコーナー 」で取り上げ、日本や世界では、今どのような問題があるのか、解決するためにどのような取り組みがされているのかを調べたり、考えたりすることができるようくふうされている。 ●特設ページ「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」は、単元の学習を終えて、もっとくわしく調べてみたいことや、気になったことをSDGsと関連づけて取り上げられている。 ●特設ページ「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」や巻末にある学年の学習をふり返るページでは、巻末綴じ込みの SDGsの目標シール を使いながら、学習したことが、SDGsとどのように関連があるか考えを深めることができる。
	(2) 人権・福祉に関する内容 ●全学年を通し、人権尊重を基本理念として、 共生社会 をめざす姿勢がたいせつにされている。 3年、4年 市(区)町村や都道府県に密着した学習を展開することを通して、地域の人々と触れ合う活動や、人々の営みや働く姿への共感をもてる学習活動が設定され、地域に対する愛情を育てるとともに、地域の人々の願いを感じ取り、地域の一員として積極的に働きかける展開になっている。 5年 日本の国土や産業、環境を学習することを通して、人権・福祉に関わる問題があることに気づかせるとともに、それらの問題を解決するための取り組みについても触れ、働く人の人権を守ること、共生社会の実現、これからの社会のあり方を考えさせようとしている。 6年 政治単元では、人々の願いとその実現への営みを追究していくことを通して、人権・福祉の問題が政治との関わりを通して取り上げられ、現代社会におけるこれらの問題の解決に取り組む構えをもたせようとしている。歴史単元では、人々の社会生活向上へのあゆみを追究していくことを通して、代表的な歴史上の人物の働きとともに民衆のくらしや願い・思いに着目させ、人間尊重の精神や人権意識を育てていくように配慮されている。日本と世界の単元では、国際社会のあり方を追究していくことを通して、地球規模での共生社会の実現に向けて考えさせている。 ● 高齢社会の問題 ・高齢者との交流や、第一次産業の従事者や農山村、都市の高齢化などの事例を通して、高齢化の進む社会のあり方について考えさせようとしている。(■③154-155 ⑤122-123 ⑥14-15) ・3年・5年・6年において障がいのある人の姿や、ユニバーサルデザインやバリアフリーに関する教材などが取り上げられ、人権や福祉に関わる多様な問題に目を開かせようとしている。(■③87 ⑤156 ⑥16-17)

教科書検討の観点から見た内容の特色④

④ SDGsと関連のある現代的な諸課題への対応

教科書検討の観点	「小学社会」の特色
(2)人権・福祉に関する内容 (続き)	<p>●働く人の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学年において、「労働」についての意義をつかませ、働く人を見つめることを通して、人権尊重・人権確立をめぐるさまざまな問題について考えさせようとしている。(■全体) 5年「3工業生産とわたしたちの暮らし」などでは、働く人の高齢化や女性の割合の低下など、現代日本の産業が直面する問題をふまえ、働きやすい職場環境の整備や先端技術の活用などの取り組みを紹介し、働く人々の人権の問題に目を向けさせようとしている。(■⑤182-191) <p>●部落問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 部落差別の解消は、国の責務であり、国民の課題であることをふまえ、6年の政治・歴史単元において、近世の幕藩体制下における身分制度を中心に、中世・近代・現代を通して位置づけられている。(■⑥16-17、134、142-143、226-227) <p>●先住民のアイヌ民族や外国人の人権問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 先住民のアイヌ民族や日本でくらしている外国人、特に在日韓国・朝鮮人に対する偏見や差別については、憲法学習・歴史学習をふまえて、この問題に取り組む姿勢をつくらせようとしている。(■⑥16-17、146、226-227、230-231、248-251、272-273) <p>●女性の人権問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 6年の憲法学習での男女平等の問題、歴史単元での地位の向上を求め続けた近代の女性の姿などが取り上げられるだけでなく、各学年の学習のなかで、女性の活躍するようすが示され、男女共生社会の実現に向け、現代の問題として取り組ませようとしている。(■⑥14-15、189、190、216)
(3)我が国の国土と歴史への理解と愛情に関する内容	<p>●公民的資質の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年で身近な地域から市のように、4年で県のように、5年では、国土の地理的環境とそこで営まれている産業のようすなどの理解が図られ、我が国の国土に対する理解と愛情を育てようとしている。6年では、中学年での地域の人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きをふまえ、我が国の歴史への理解を深めるよう配慮されている。(■全体) このような学習により、平和で民主的な国家・社会の形成者としての自覚をもち、互いに尊重し、義務や責任を果たそうとしたり、公正に判断したりする態度や能力を育成できる。 <p>●伝統や文化の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年「1わたしたちの住んでいるところ」では、自分たちが住んでいる市の古い町なみなどを観察したり、昔のようすやいわれを聞き取ったりすることで、今も残る古くからある建造物に興味をもたせるようにしている。 4年「4地いきの伝統や文化と、先人のはたらき」では、県や市に伝わる祭りや文化財、年中行事の調査を通して、人々の知恵や願いに気づかせるようにしている。 5年「1日本の国土と人々の暮らし」では、気候や地形にあわせた人々の生活を調べ、独特な伝統や文化を捉えられるようにしている。 6年「2日本のあゆみ」では、茶の湯や生け花などの今に残る室町文化の体験的な学習や、江戸時代の町人文化を調べていくなかで、それらの文化が外国へも影響を与えたことや、今も親しまれていることなどを捉える学習から、児童が日本の伝統や文化を実感として捉えられるよう配慮されている。「3世界のなかの日本とわたしたち」では、世界の国々とスポーツや文化を通じた国際交流をするために、わたしたちが何に取り組めばよいかを示唆されている。 <p>●国旗と国歌を尊重する態度の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけられるよう、我が国や外国の国名や国旗が示され、我が国の国旗と国歌の意義を理解し、尊重する態度を育てるとともに、諸外国の国旗と国歌も同様に尊重する態度を育てるように配慮されている。(■③88-89 ④199 ⑤15 ⑥236、255)
(4)平和・国際理解に関する内容	<p>●平和問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の学習のなかで、平和で豊かな共生社会の実現を視点に、発達の段階をふまえて社会的事象が教材化されている。 3年「4市のようすと暮らしのうつりかわり」では、コラムにおいて戦争があったところの学校の様子について扱い、約80年前に日本で戦争があったことや、戦争は人々の暮らしに大きな影響を与えたこと、戦争は悲惨なものであることを理解させ、平和を希求する態度を養えるようにしている。 6年「1わが国の政治のはたらき」では、日本の平和への願いと憲法の平和主義について触れられ、次の「2日本のあゆみ」の「アジア・太平洋に広がる戦争」で、当時の国際情勢をおさえつつ、日本の対外政策のあり方について考えるとともに、戦争の悲惨さがわかるように配慮されている。「3世界のなかの日本とわたしたち」では、現在の平和の問題とそれに取り組む日本と日本人の姿が、具体的事例で示され、平和を願う地球市民としてこれからのあり方を考えさせようとしている。

教科書検討の観点	「小学社会」の特色
(5)環境問題に関する内容	<p>●国際協調</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の学習のなかで、外国との結びつきを通して、国際化の進展を実感するとともに、国際協調のたいせつさが認識できるように配慮されている。また、それぞれの国の文化や伝統を理解し、お互いに尊重し合うことが必要であることをおさえている。 4年「5わたしたちの住んでいる県」では、多文化共生社会にも目を向けさせ、児童たちがグローバル社会に対応できるように構成している。 5年「3工業生産とわたしたちの暮らし」では、貿易の問題を通して外国との交流や協調の重要性に気づかせるとともに、フェアトレードなどの事例を紹介して、国際社会の問題と自分たちの暮らしが直結していることを理解させることを通して、国際化の進展を実感させるとともに、国際協調のたいせつさを認識できるように配慮されている。 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)については、5年「3工業生産とわたしたちの暮らし」の「これからの工業生産のあり方を考えよう」、特設ページ「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」、6年「3世界のなかの日本とわたしたち」の「文化による国際交流」で紹介されている。 <p>●自然環境や生活環境について、児童の発達の段階に応じて、自分の家庭や身近な地域から、広く地球規模の問題にまで関心をもち、それらの問題を考えていこうと全学年を通して系統的に位置づけられている。</p> <p>●6年「1わが国の政治のはたらき」では、公害を乗り越えた水俣市を選択事例として取り上げ、自然との共生と地域の発展を両立させようとする取り組みを紹介し、持続可能な社会を構築することの重要性を考えさせようとしている。</p> <p>●6年「3世界のなかの日本とわたしたち」では、地球規模の環境問題を取り上げ、自分たちにとって切実な問題として考えさせようとしている。</p>
(6)情報社会に関する内容	<p>●学習指導要領の情報を収集する技能、読み取る技能、まとめる技能を育てようとする意向を受け、情報の収集や整理をおこなうとともに、学習の内容を発信する活動が、学年の系統と児童の発達の段階をふまえ、学習展開のなかで適切に位置づけられている。</p> <p>●全学年を通して、「学び方・調べ方コーナー」で地図、カード、年表、標語などのつくり方や聞き取りの仕方、資料の集め方やインターネットの使い方、調べたことや考えたことわかりやすい発信の仕方などが取り上げられ、情報活用能力の育成が図られている。(■全体)</p> <p>●プログラミング的思考を育成することができるよう、学習問題をつくるまでの過程が丁寧に示され、学習の見通しをもって計画的に学習に取り組むことができるように配慮されている。(■全体)</p> <p>●5年「4情報社会に生きるわたしたち」では、気象情報が具体的事例として取り上げられ、情報化の伸展の意義を体感させるとともに、情報社会がコンピューターをはじめとする情報技術によって支えられていることに気づくなど、これからの情報社会を生きる児童に必要な資質を身につけさせようとしている。</p> <p>●情報モラルについても取り上げられ、適切に情報を取り扱うことができるよう配慮されている。(■⑤208-209)</p>
(7)健康・消費者に関する内容	<p>●人々の健康な生活や良好な生活環境について理解し、地域社会の一員としての自覚をもつことができるように、児童の発達の段階をふまえて教材化されている。</p> <p>●3年「2わたしたちの暮らしとまちではたらく人びと」では、商店としてスーパーマーケットが取り上げられている。販売者側のくふうだけでなく、消費者が上手な買い物をするため、価格のほかに、安全性の観点から、品質・産地・賞味期限などを考え、店や商品を選んで購入していることをおさえている。また、工場や農家の生産現場においても、安全な食品をつくることの重要性をおさえている。</p> <p>●4年「2健康な暮らしを守る仕事」では、健康な生活の維持と向上を図るうえで欠かせない飲料水が取り上げられている。命と暮らしを支える水がいつでも使えるよう、大量に確保されていることをおさえている。</p> <p>●5年の産業の学習では、農業・水産業・工業のいずれにおいても、消費者のニーズをふまえて生産がおこなわれていることが適切に示されている。また、「5国土の環境を守る」では、公害問題について自分の生活との関わりを多角的に捉えさせ、国民の健康を守ることのたいせつさ、国民一人ひとりの協力の必要性に気づくようにしている。</p> <p>●6年「2日本のあゆみ」では、各時代の食事のようすなどが取り上げられている。伝統的な食文化や、食に関する知識や興味・関心を深められるよう、食の視点に関しても配慮されている。</p>

④ SDGsと関連のある現代的な諸課題への対応

教科書検討の観点	「小学社会」の特色
<p>④ 防災・安全に関する内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●3年「3安全なくらしを守る」では、地域社会における消防と警察が取り上げられ、人々の安全を守るための働きを学習することができる。 ●4年「3自然災害から人々を守る活動」では、自然災害から人々を守る活動として、風水害、地震、津波、火山、雪による災害が取り上げられている。災害の規模だけでなく、行政や地域での取り組みが紹介され、「自助、共助、公助」の観点で構成されている。 ●5年「5国土の環境を守る」では、「自然災害から人々を守る」の内容が充実している。東日本大震災を事例に、防災・減災に関する取り組みや、防災のための情報の動きも取り上げられている。また、東日本大震災を事例にした「産業へのえいきょう」では、宮城県の漁港の水あげ量や日本国内の自動車の生産台数の移り変わりなどが取り上げられている。 ●6年「1わが国の政治のはたらき」では、災害復旧の取り組みとして、平成26年と平成30年の広島豪雨災害で被災した広島市が選択事例として取り上げられ、主教材とほぼ同等の扱いの充実した教材として掲載されている。また、「コラム」では、復興交流館「モンドラゴン」の活動が紹介されている。
<p>4 正確性及び表記・表現</p>	
<p>(1) 児童の発達の段階に応じた文字の大きさ・文字数・文章表現などがなされ、わかりやすいようにくふうされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本文は、学習の進め方や児童の追究活動を中心とした記述となっており、児童の「主体的・対話的な学習」を支援する手引きとなるよう配慮されている。(■全体) ●本文に対応して、児童が書いた「見学メモ」、「〇〇さんのノート」、「〇〇さんがまとめたワークシート」など、調べ方や調べたことの整理の仕方などが例示されている。その際、児童の発達の段階をふまえ、使用する用語・語句を吟味するとともに、学習の流れが理解しやすいように表現が配慮されている。(■③82-83) ●漢字は、原則として当該学年の配当漢字までが使用されている。当該学年以上の配当漢字には、すべてにふりがながつけられ、読みの抵抗を少なくするよう配慮されている。(■全体) ●文字は、誰にでも見やすく読みやすい「ユニバーサルデザインフォント(UDデジタル教科書体)」が使用され、読みやすい大きさを示されている。(■全体)
<p>(2) 写真・イラストなど各種資料は、正確で効果的に示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●全体を通して、特に導入ページ(大単元、歴史単元は小単元)では、インパクトのある写真やイラストを中心に構成されている。そして、大きな判型(AB判)が採用され、さらに迫力のあるページ構成となっている。 ●学習展開に沿って、生き生きと追究活動に取り組む児童の姿などが、写真資料としてレイアウトにくふうを凝らして掲載され、児童の学習意欲を喚起しようとしている。 ●教科書の内容を読み取りやすいよう、本文が三つに分けて記述されている。 ●地図・グラフなどの資料については、最新のデータが採用され、必要に応じてその出典・年次・場所などを明記して正確性を期すとともに、学年の系統と児童の発達の段階に配慮した表現方法がとられている。
<p>5 造本</p>	
<p>(1) 大きさや判型への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●AB判を採用し、写真やイラストを大きくして児童の興味・関心をひきやすくなるように配慮されている。
<p>(2) 印刷の鮮明さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●文字や写真、イラストなどの印刷は鮮明で、読み取りやすく、児童の興味・関心を高めることができる。
<p>(3) 堅牢さと装丁のくふう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●製本は通常の無線綴じよりも丈夫なあじろ綴じが採用され、従来の針金綴じよりも本が大きく開くように改良されている。
<p>(4) 使いやすさへの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●表紙は美しく丈夫な表面加工が施されているが、名前の記入欄だけは加工をのぞくといった細心の配慮がなされている。 ●学習内容をより効果的に見せられるようくふうし、学習効果を高められるようになっている。
<p>(5) 安全・健康への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書の表紙には、従来よりもくふうされた表面加工を施すなど、化学物質に過敏な児童に少しでもやさしいものになるよう配慮されている。
<p>(6) 環境への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●植物油インキが使用され、環境にもやさしい本である。
<p>(7) 軽量化への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年1巻構成の採用に伴い、児童の負担をできるだけ軽減するため、本文用紙は十分な強度を有する軽量化した再生紙が使用されている。

心が動く、その先へ。

これが好き。なんでだろう？ もっと、知りたい。
心が動く、瞬間。それは、「学び」のはじまり。

感じ、考え、想像し、表してみる。
そこから生まれる、一つひとつが、あなただけのもの。

それを贈り合ったら、うれしくなる。
心が満ちて、次の「やってみよう」が湧いてくる。
ほかの誰かと混ざり合ったら、ちがう景色が見えてくる。

そんな学びが、
あなたの、みんなの世界を耕していく。

私たちは、学びのはじまりを大切に、
その先に広がる一人ひとりの未来をともに育みたい。

心が動く、そのそばで。

日本文教出版は創業より、子どもの中に生まれる学びを大切に
教科書・教材の発行に挑戦し続けてきました。

どんなに時代や社会が変わっても、大切にしたいこと。
その想いを、志(Purpose)に込めています。

私たちはこれからも、一人ひとりの心が動く瞬間に寄り添いながら、
その先に広がる未来をともに育んでいきます。



日文Webサイトのご案内

日文 Web サイトでは、新版教科書の情報や、日々の指導や資料作成に役立つさまざまな情報を積極的に発信しています。

～掲載内容～

<新版教科書のご案内>

- 内容解説資料(PDF・電子ブック)
- 教科書検討の観点からみた内容の特色(PDF・Word)
- 編修趣意書 ● 内容解説動画
- デジタル教科書(教材)体験版

<お役立ち情報>

- 社会科NAVI、社会科NAVI+、学び!と社会
- 副読本作成資料 ● 社会科Q&A など

今すぐ日文Webサイトにアクセスしてみよう!



日文 小社 令和6年

検索



読み取りはこちらから!

著 者 者

池野 範男 広島大学名誉教授
的場 正美 名古屋大学名誉教授
安野 功 國學院大學教授

飯塚 博恭 大阪府大阪市立平尾小学校校長
井川 和道 元三重県四日市市立羽津小学校校長
池上 朗 兵庫県姫路市立城北小学校校長
磯田 道史 国際日本文化研究センター教授
井田 仁康 筑波大学教授
市川 則文 三重大学教職大学院特任教授
井ノ尾 功 元甲賀市教育研究所長
今井 大介 京都府京都市立西野小学校教頭
上野 敬弘 東京学芸大学附属竹早小学校教諭
植松 利晴 帝塚山大学講師
馬野 範雄 関西福祉科学大学教授
大賀 拓司 大阪成蹊大学教職キャリアセンター特別講師
大西 浩明 奈良教育大学特任准教授
尾崎 靖二 元甲南女子大学教授
片桐 清司 元和歌山県和歌山市立有功東小学校校長
加藤 雅弘 東京都足立区立血沼小学校校長
神尾 健彦 東京都青梅市立今井小学校校長
木原 俊行 大阪教育大学教授
桑原 敏典 岡山大学学術研究院教授
河野 晋也 大分大学准教授

小須田 哲史 東京都東大和市立第九小学校校長
小谷 恵津子 玉川大学教授
米田 豊 兵庫教育大学名誉教授
今 伸仁 弘前大学教育学部附属小学校教諭
左近 洋二 大阪府枚方市教育委員会教育推進プランナー
佐藤 民男 東京都中野区立北原小学校校長
澤田 純二 東京都江東区立八名川小学校校長
澤田 広彰 知多市歴史民俗博物館生涯学習指導員
柴田 好章 名古屋大学大学院教授
關 浩和 兵庫教育大学大学院教授
高瀬 雄二 東京都江戸川区立西葛西小学校校長
田口 紘子 日本体育大学教授
多胡 清一 東京都足立区立千寿双葉小学校主幹教諭
土屋 武志 愛知教育大学教授
外山 善正 元大阪府堺市立小学校校長
永田 成文 広島修道大学教授
永田 忠道 広島大学大学院准教授
西谷 秀幸 東京都板橋区立成増ヶ丘小学校校長
橋本 康弘 福井大学教授
廣岡 浩 大阪府大阪市立喜連北小学校校長
深谷 孟延 元東海市教育長
藤井 譲治 京都大学名誉教授
藤井 千春 早稲田大学教授
堀江 信彦 元甲南大学非常勤講師

真島 聖子 愛知教育大学准教授
松岡 久治 大阪府東大阪市立成和小学校講師
宮崎 光男 元群馬県嬬恋村立田代小学校校長
宮本 晃郎 神戸女子大学特任教授
武藏 昌行 埼玉県川越市立川越西小学校校長
森 進一 東京都江戸川区立南小岩小学校校長
森 実 大阪教育大学名誉教授

谷田部 玲生 桐蔭横浜大学教授
矢延 文夫 元岡山県岡山市立桃丘小学校校長
山口 美保 埼玉県さいたま市立芝原小学校教頭
山田 耕司 福岡海星女子学院附属小学校校長
山田 均 奈良県王寺町教育委員会理事
山本 朋弘 中村学園大学教授
吉村 功太郎 宮崎大学大学院教授
渡部 竜也 東京学芸大学准教授

ほか114名
日本文教出版株式会社

- 防災・安全教育に関する校閲
片田 敏孝 東京大学大学院情報学環特任教授
河田 恵昭 関西大学特別任命教授
- 特別支援教育・カラーユニバーサルデザインに関する校閲
大内 進 星美学園短期大学客員研究員
- 道德教育に関する校閲
島 恒生 畿央大学大学院教授

令和6年(2024)年度版 小学校社会科 内容解説資料

116 日文	教科書 記号・番号
3年 社会 308	
4年 社会 408	
5年 社会 508	
6年 社会 608	

●本書の無断転載・複製を禁じます。
CD22319

日本文教出版 株式会社
<https://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F・B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690